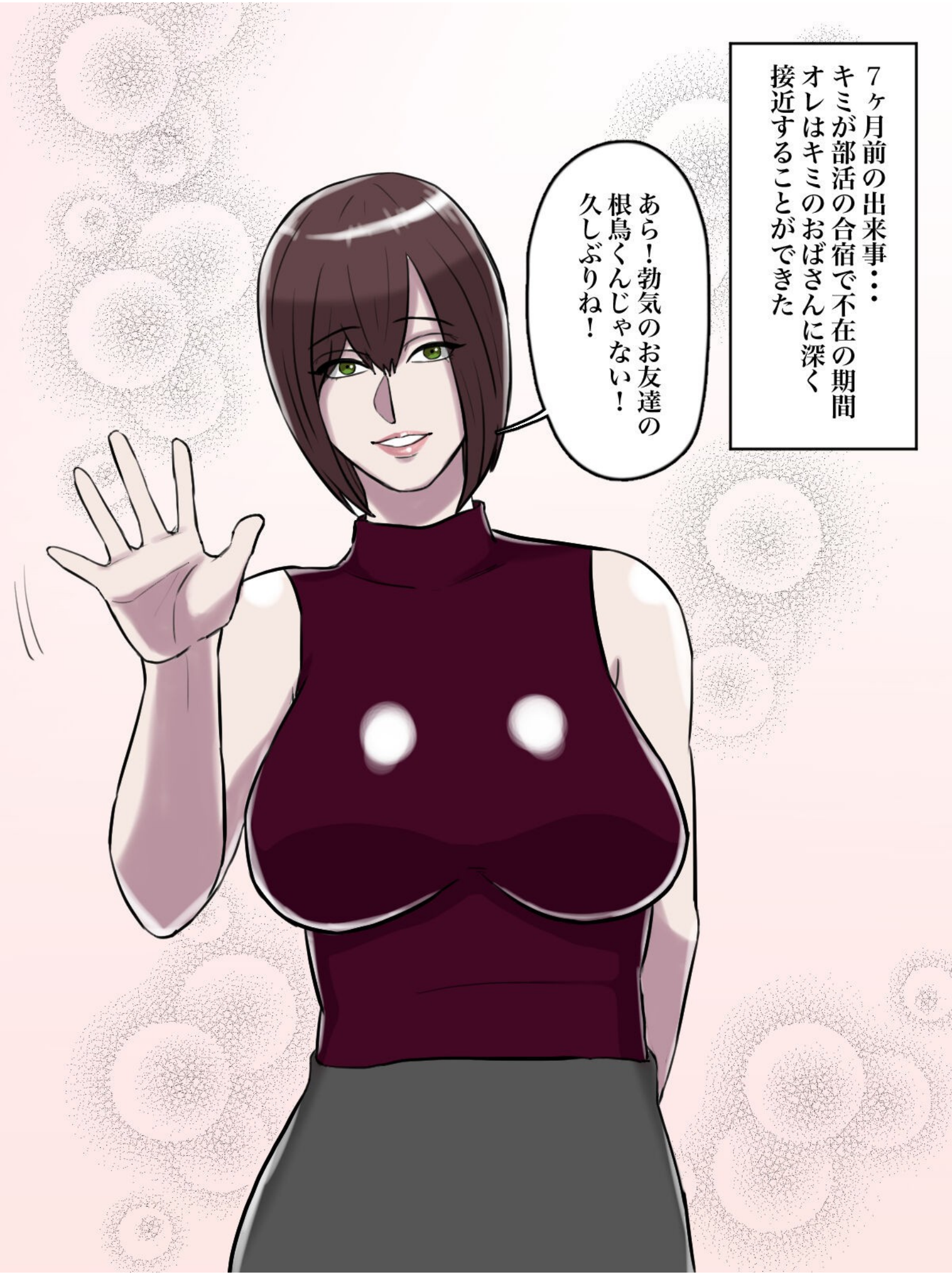
【フルカラー版】
拝啓 親友へ、君の母親を
レ◎プさせていただきました。
■ちょっとB専

拝啓　親友へ

君の母親を
レ○プさせていただきました。
その全てをここで告白します。


7ヶ月前の出来事・・・
キミが部活の合宿で不在の期間
オレはキミのおばさんに深く
接近することができた
あら！勃気のお友達の
根鳥くんじゃない！
久しぶりね！

オレはその時期親と喧嘩をして
家を追い出されていた

ご両親から虐待…？
それで家を飛び出してきたの…
それは大変だったわね…

オレは虐待の嘘をついて
おばさんの優しさにつけ込んでやった

うちにねぇ…
んー…このまま帰すのも心配ね
補導だってされちゃうかもだし

オレはその場で土下座をしたよ…
日本は良いよな…適当に頭と手を地面につける
だけで誠意と捉えるんだからな…

さすがにおばさんは土下座には戸惑っていたね
だけどオレをキミの家に一晩泊めてもらえることに
なったのさ
キミのオバサンは心が綺麗だ…そこが大好きなのさ

ニヤッ

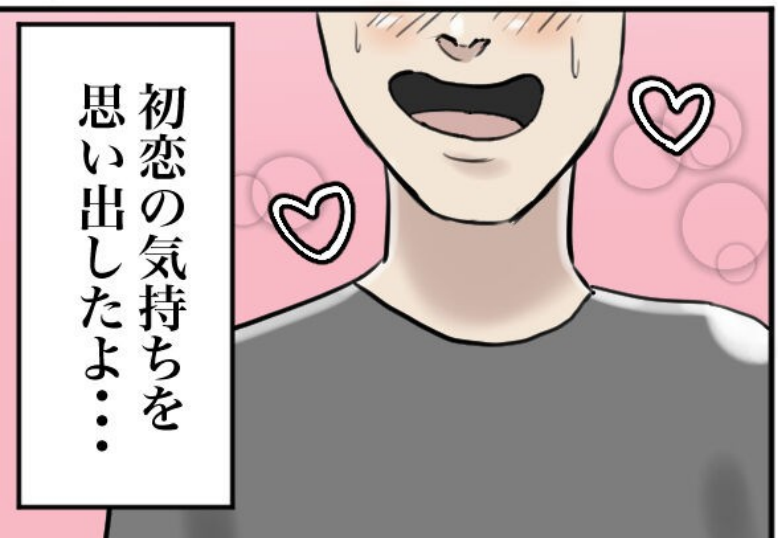
そう…オレはキミの母親のことが好きなんだよ
おばさんが離婚したと聞いた時は心底嬉しかった
もしかしたら年下のオレに振り向いてくれるかも
ってな…

それからすぐキミの家に向かったよ

本当久しぶりにキミの家に行ったけど良い家だね

オレはおばさんとの時間に気持ちの高鳴りが抑えられなかったよ

おばさんの綺麗な瞳・・・歳をとっても全く変わっていなかった・・・



初恋の気持ちを思い出したよ・・・

その日の夜・・・初めておばさんの手料理をご馳走になった

キミは幸せ者だなんて素敵な女性なのだろう・・・

そういえば根鳥くんって

彼女とか好きな人っていいるの・・・？

えっ!?

い・・・いやいないよ学校の女子はガキっぽいから全然惹かれないかな

あらそうなの？

ど・・・どっちかっていうと年上の方が好みかな！

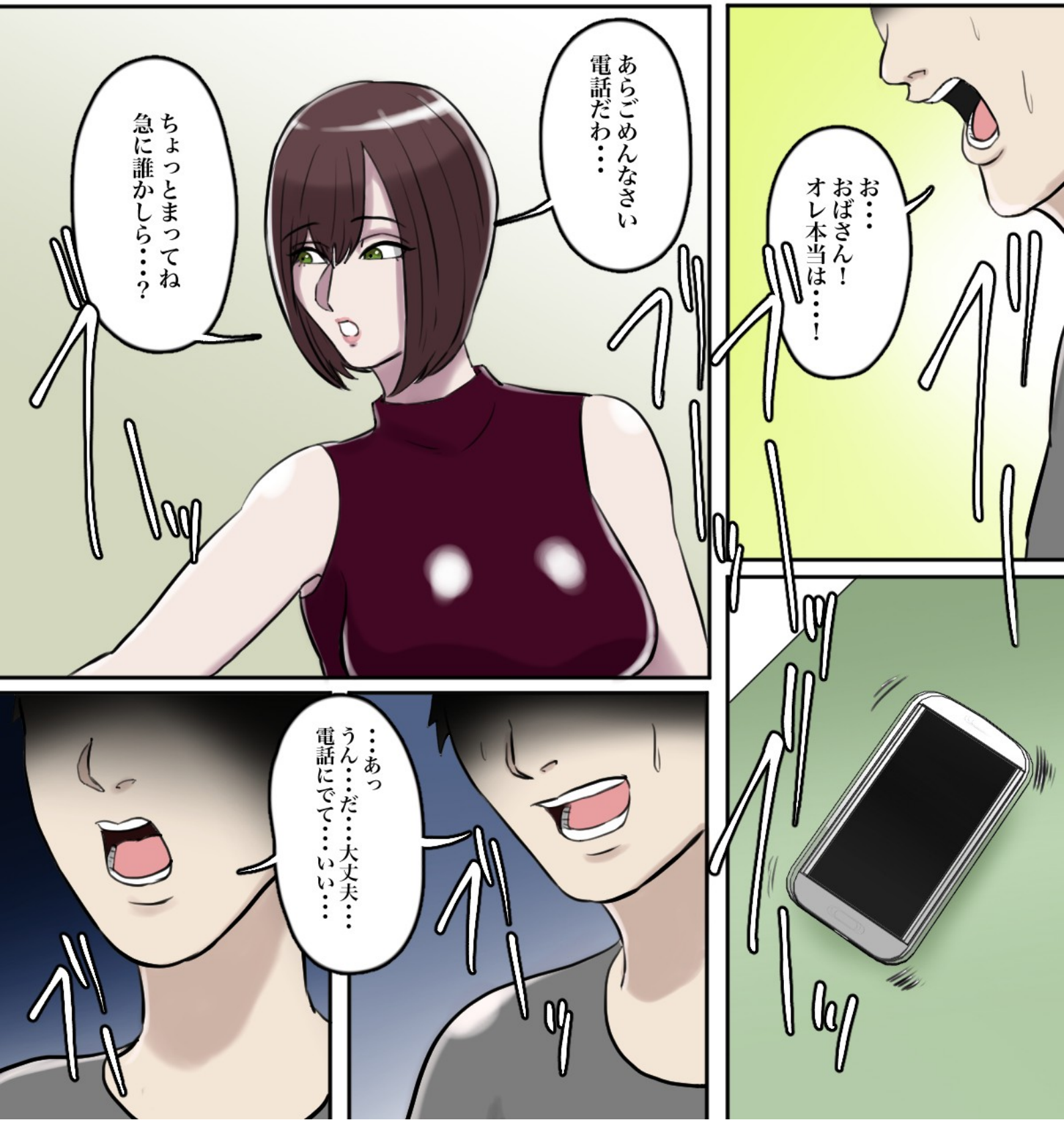
あらそうなの！いつかきっと大好きな人ができるわよ！うふふっ！

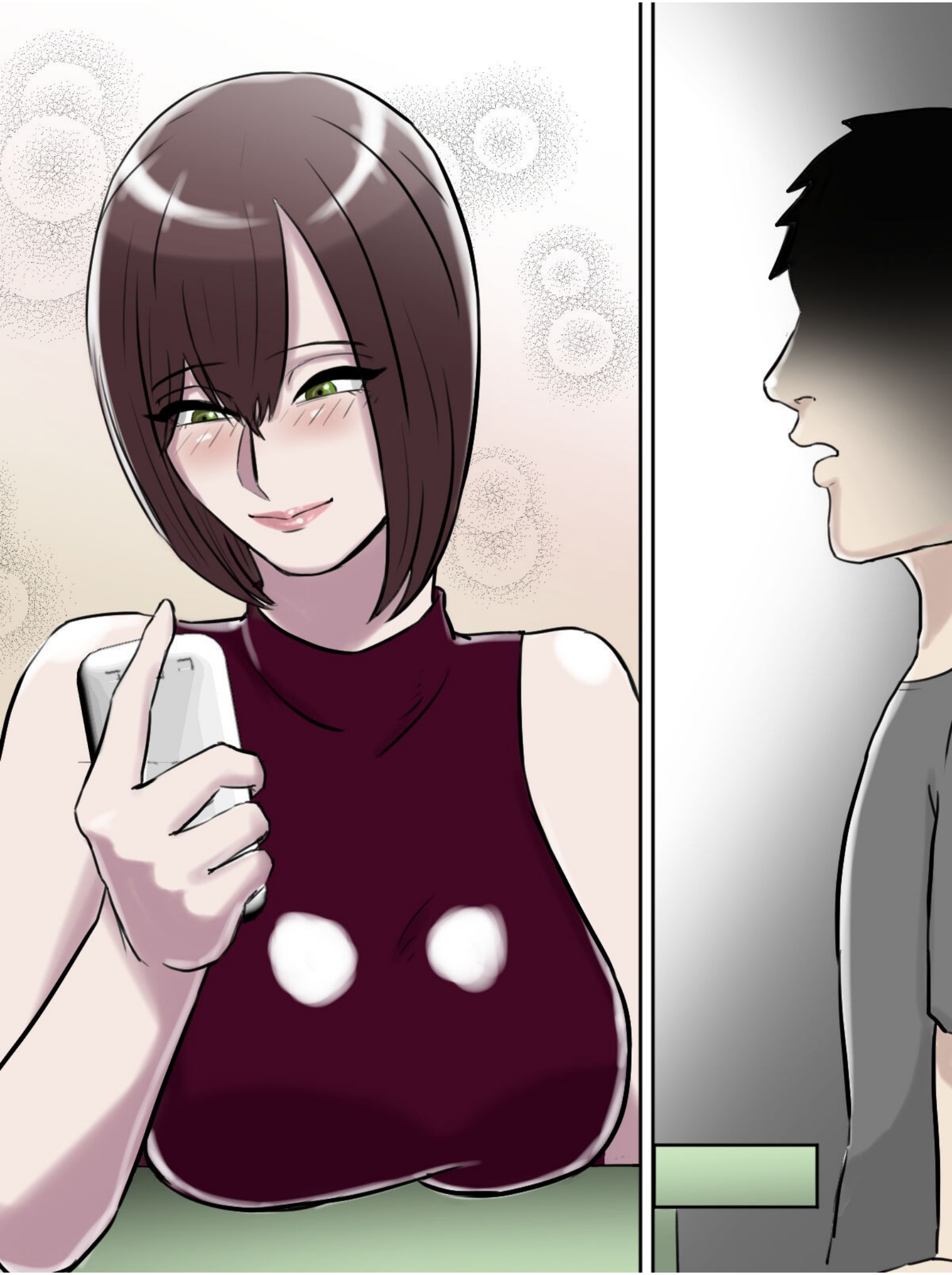
い・・・言いたい・・・

本当はおばさんのことが好きだって・・・愛してるって・・・！

だから・・・思い切ってこの思いを伝える・・・

はずだった・・・

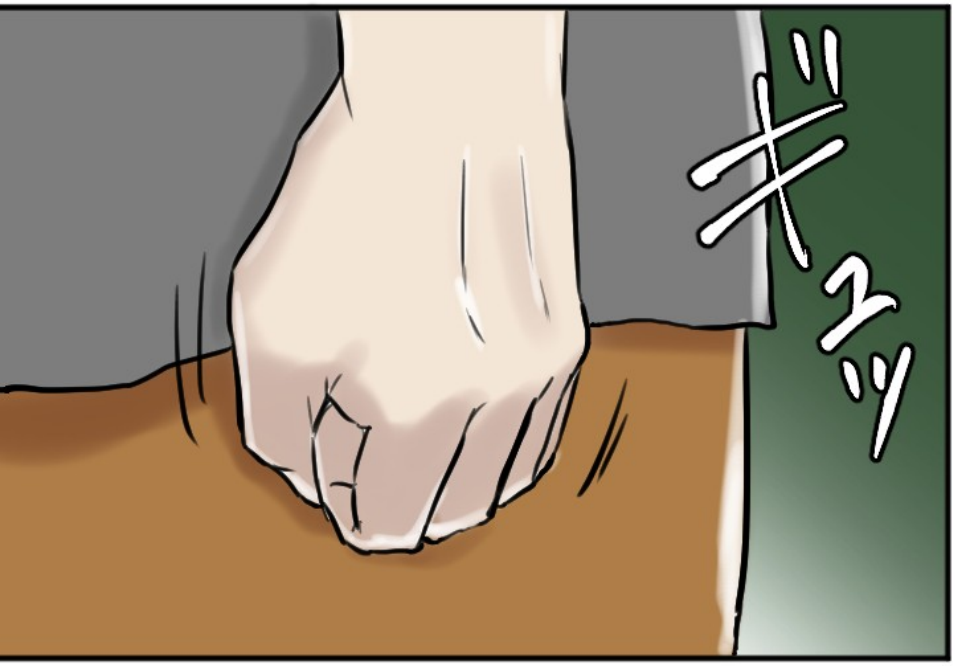

お・・・
おばさん！
オレ本当は・・・・！
あらごめんなさい
電話だわ・・・
ちょっとまってね
急に誰かしら・・・？
・・・あっ
うん・・・だ・・・大丈夫・・・
電話にでて・・・いい・・・



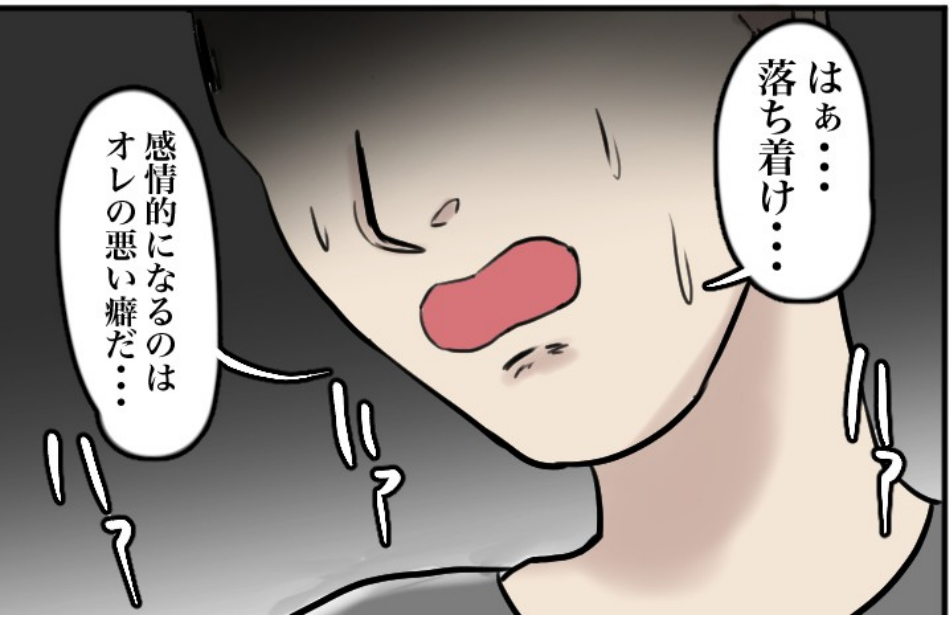
あ！気にしないで！大丈夫だからあとでかけなおすから
それで…なんだっけ！
イッ
なんでもないよ！
大丈夫…大丈夫だよ
あら…そう？
き…気のせいだよ…な…？
違うよな…変な考えはやめよう
お…おばさんオレお風呂入りたい！借りても良いかな…？
全然良いわよ！タオルとかはストックがあるから好きに使って！
カタッ
シャンプーとボディソープ間違えないようにねー!!

あれが・・・女の顔・・・

なんだ・・・！
なんなんだ！
さっきのおばさんの顔！
オレには見せたことない
顔をしていた！
なにか理由があるだろ！
トッ
トッ


ギュッ

プル
プル
プル


はぁ・・・
落ち着け・・・
感情的になるのは
オレの悪い癖だ・・・

ザーッ

ゴソ

ふぅ…
お風呂入ったら結構
落ち着いたなあ…

ゴソ

さっきのことは忘れよう
おばさんといる時間を
楽しもう…

トッ

トッ

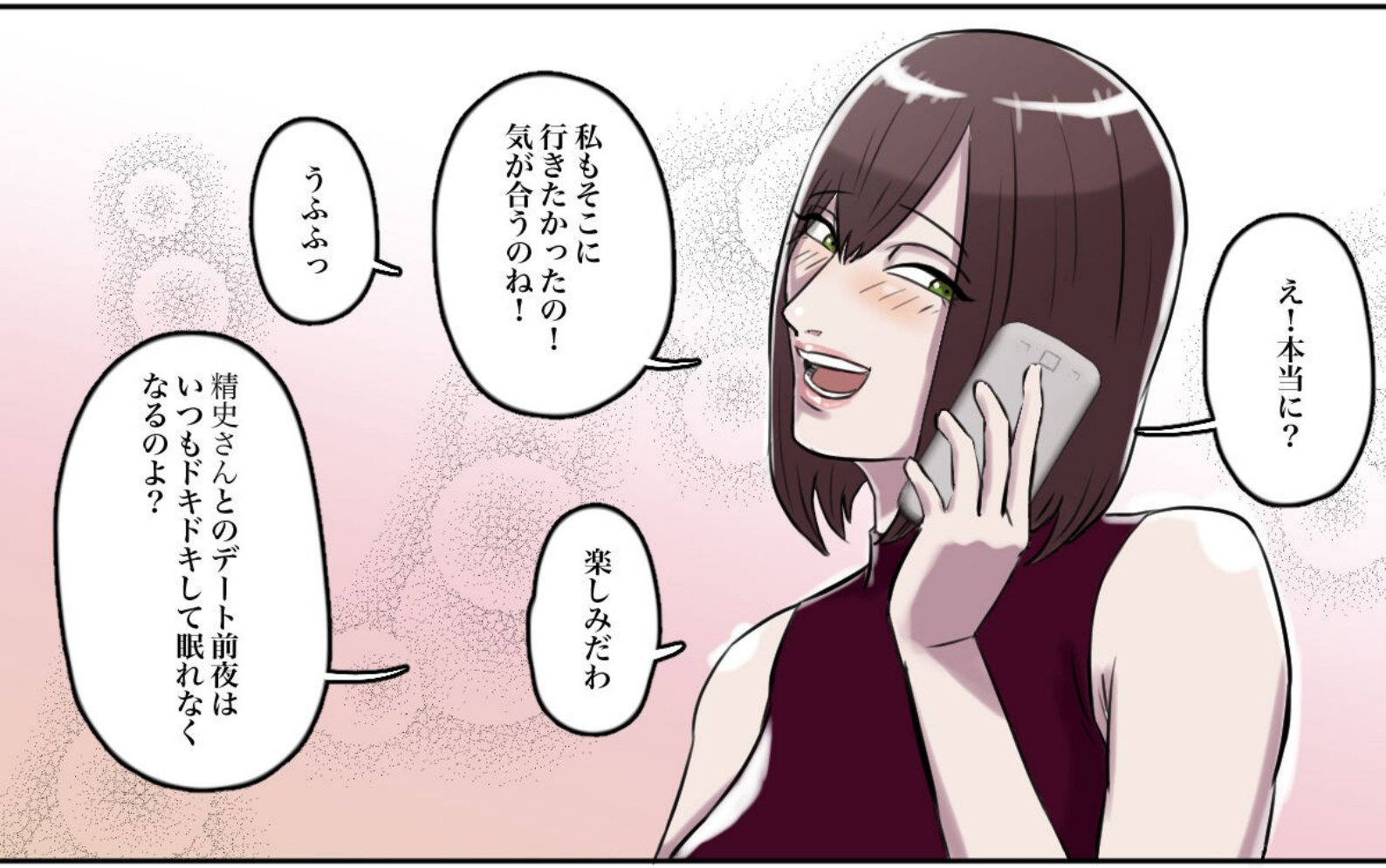
スッ

ふふっ！
やだぁ精志さんったら！

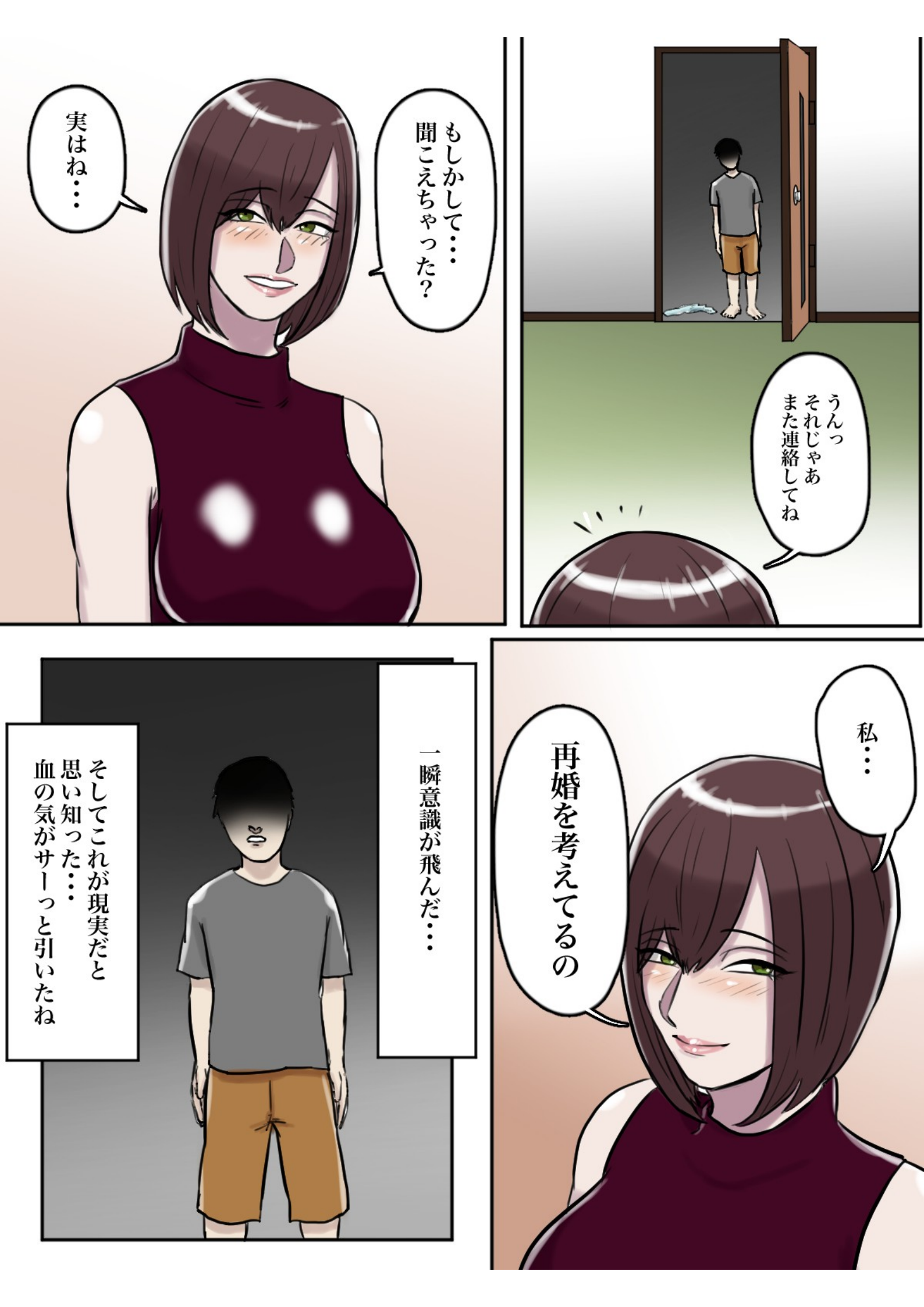
ピタッ

もう！
いじわるなこと
言わないでくださいっ！
うふふっ！

うん
そうね
ガチャッ
スーッ
えぇ・・・
うん
今度の休日ね
行きたいところ
とかある？


え！本当に？
私もそこに
行きたかったの！
気が合うのね！
うふふっ
楽しみだわ
精史さんとのデート前夜は
いつもドキドキして眠れなく
なるのよ？

ゾワッ
疑惑が確信に変わった
瞬間だった・・・
ショックすぎて言葉を
失ったよ・・・最悪だったね

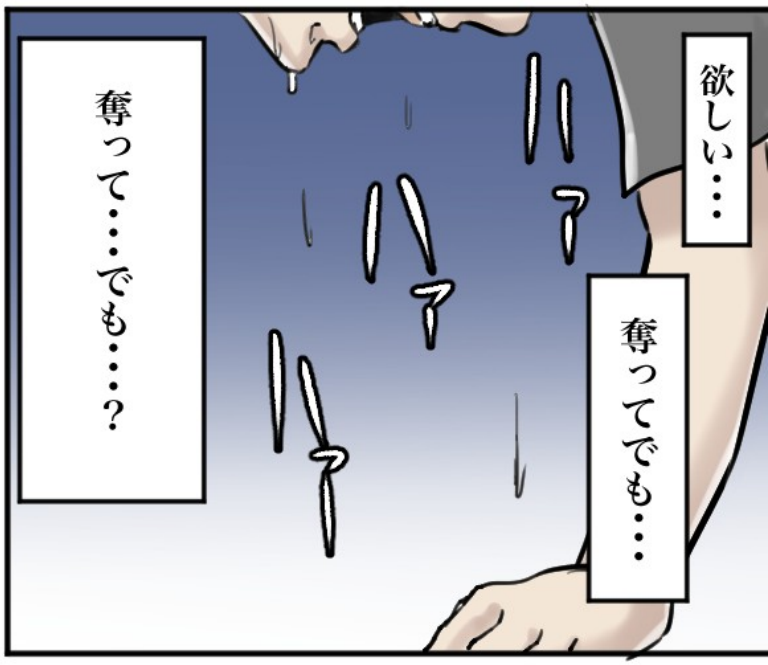

うんっ
それじゃあ
また連絡してね
もしかして…
聞こえちゃった？
実はね…
私…
再婚を考えてるの
一瞬意識が飛んだ…
そしてこれが現実だと
思い知った…
血の気がサーっと引いたね

あ・・・！
勃気には内緒ね！
ふふっ
ニコッ
くそ・・・！
くそ！くそ！
ハーハー
おばさんが再婚!?
ふざけるな！オレの恋はこんな形で
終わるのか!?思いも伝えてないのに・・・！
それじゃあ・・・
私もお風呂はいってくるわね
喉乾いてたら
冷蔵庫の中のもの
好きに飲んで良いから！

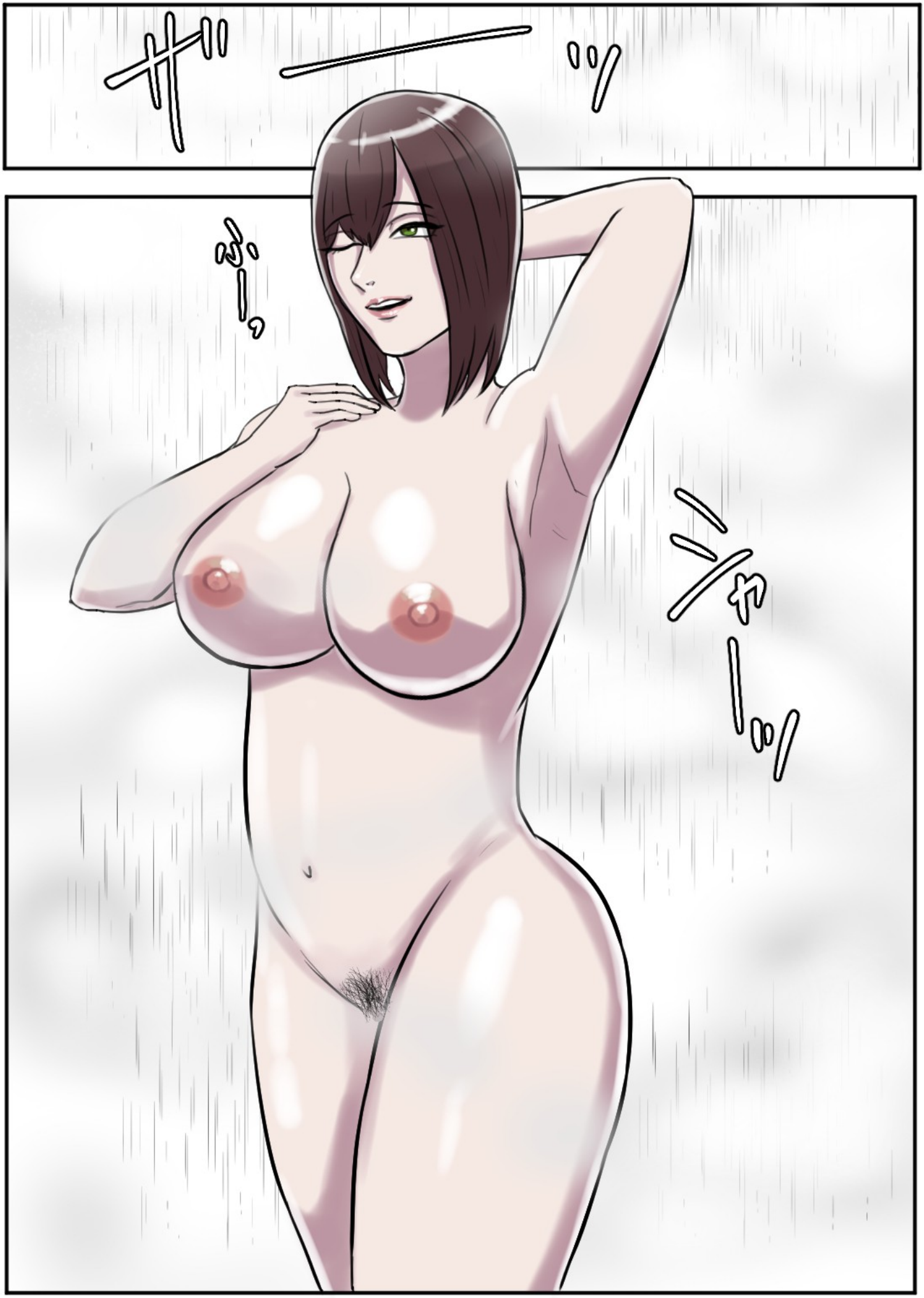
おばさんがまた誰かのものになってしまう…
考えたくなかった事実…
いや心の中で気づいていたのかもしれない
本当はオレみたいな年下は最初から相手にされないなんて…

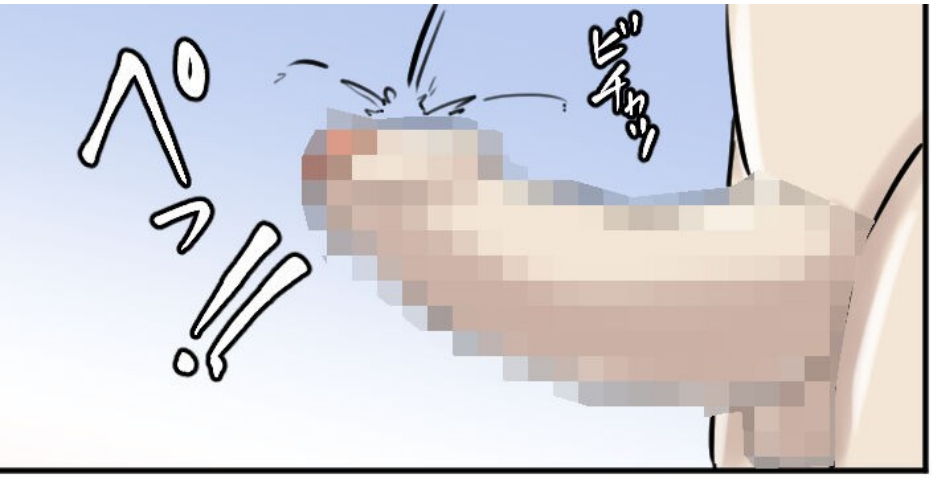
ドサッ

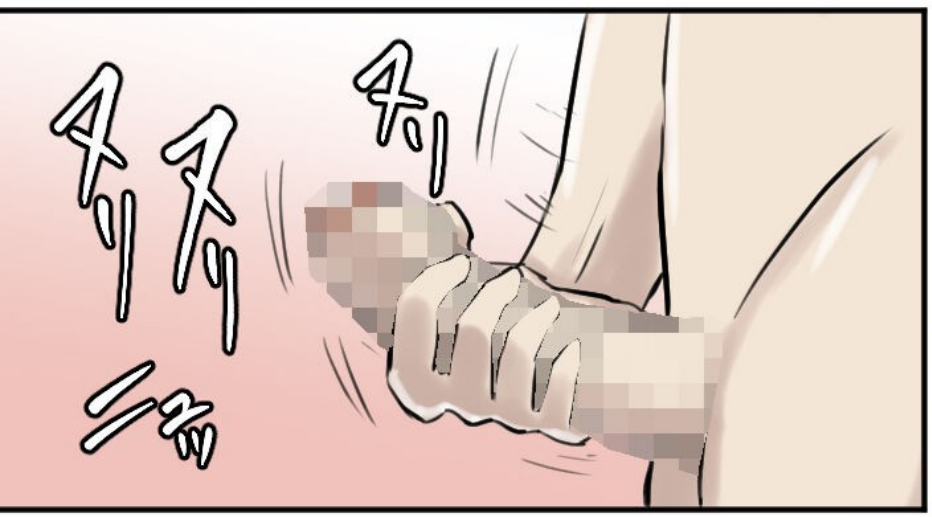
でもオレの気持ちは本物だったんだ…
これから先これ以上人を好きになるわけない…
同級生のションベンくさいやつらとおばさんは比べ物にならないんだ…
欲しい…欲しい…おばさんが欲しい…

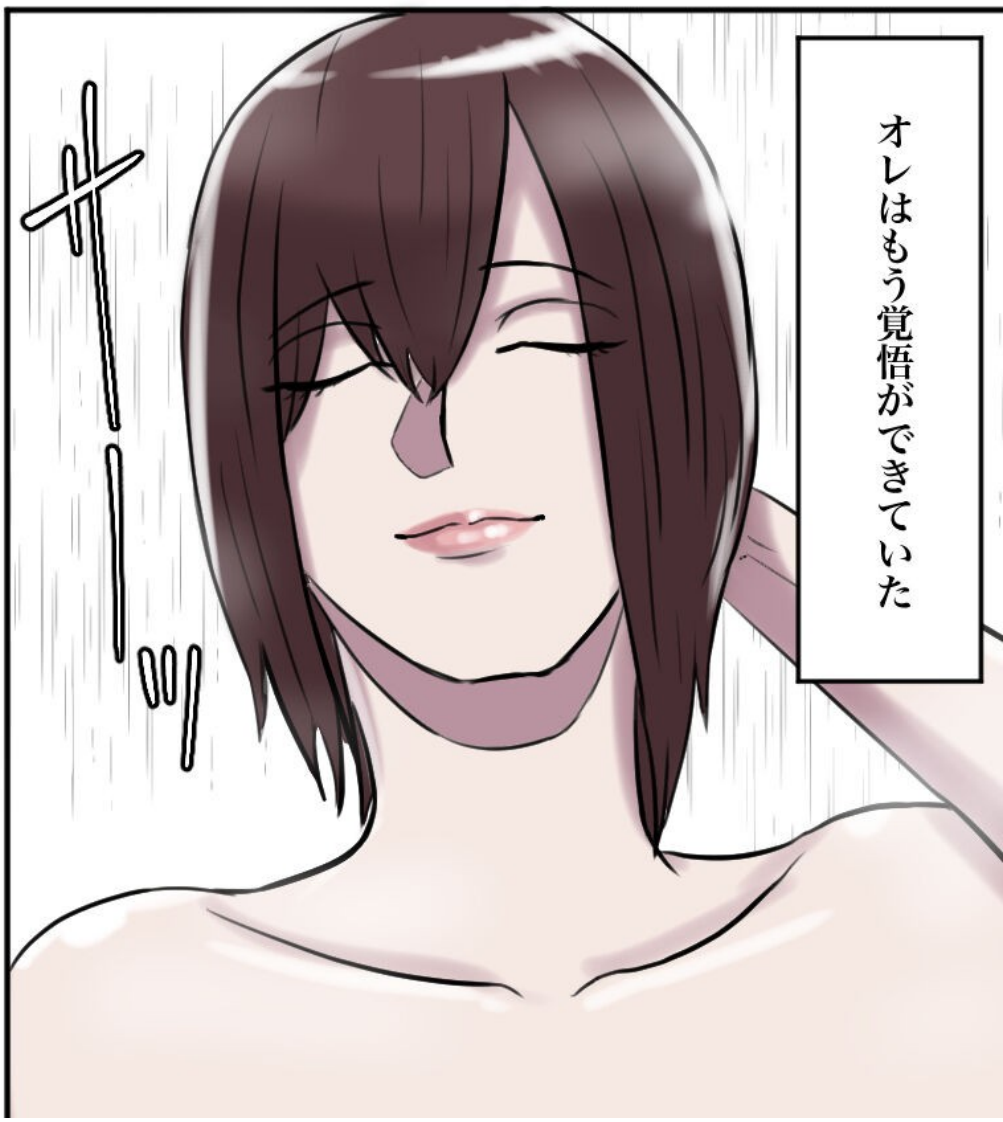


奪ってやるよ…

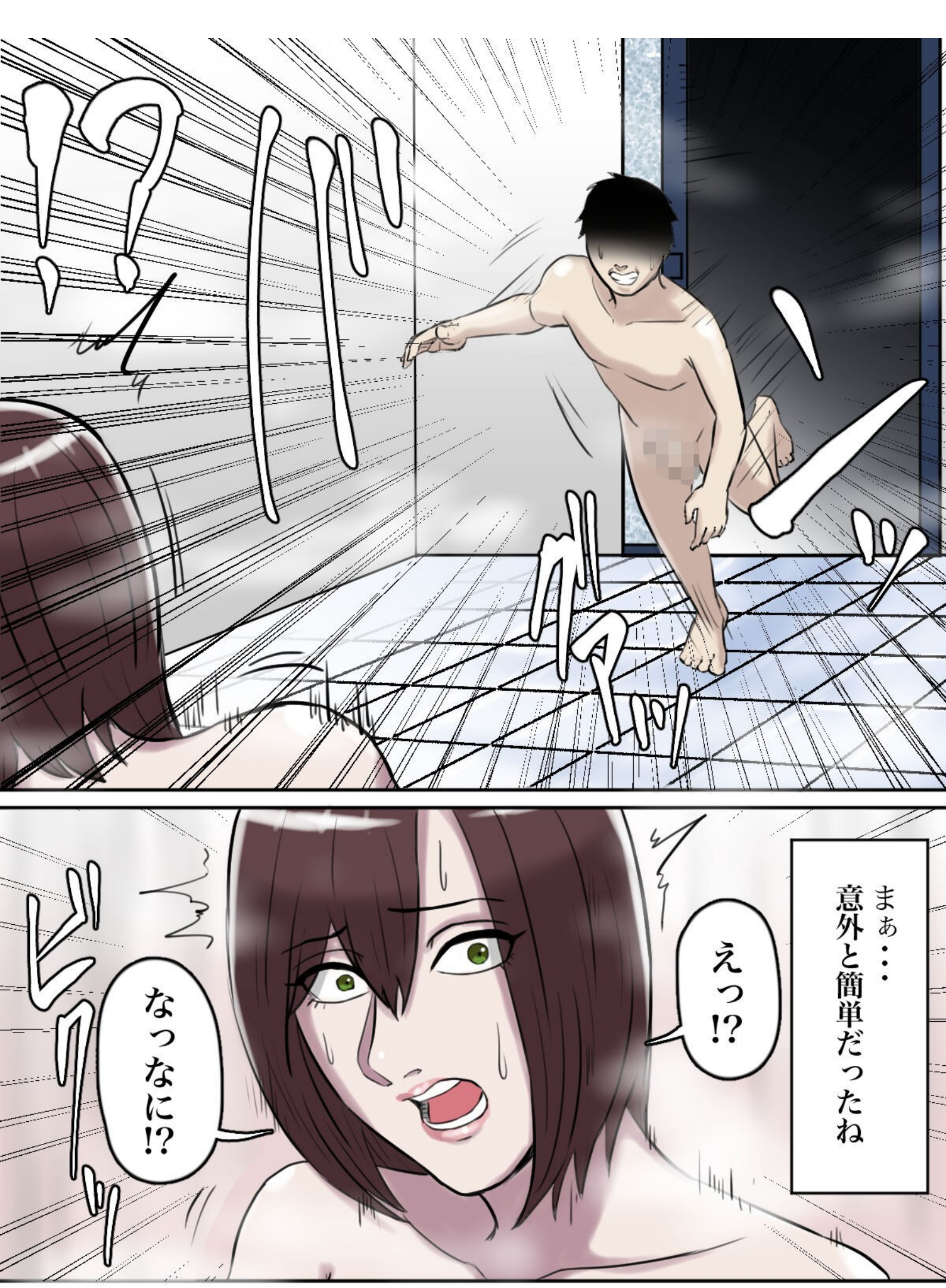


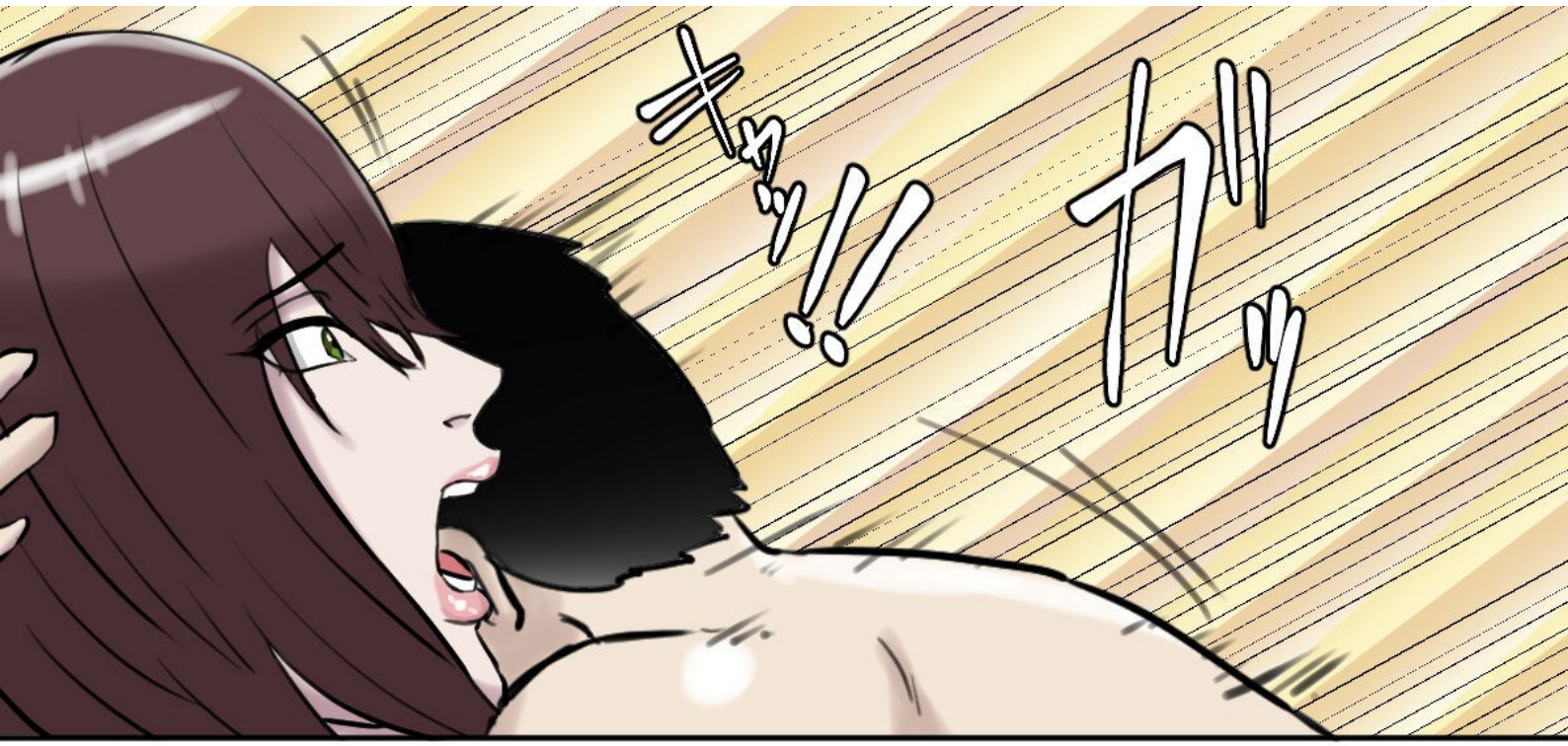

ビチッ
ペッ!!

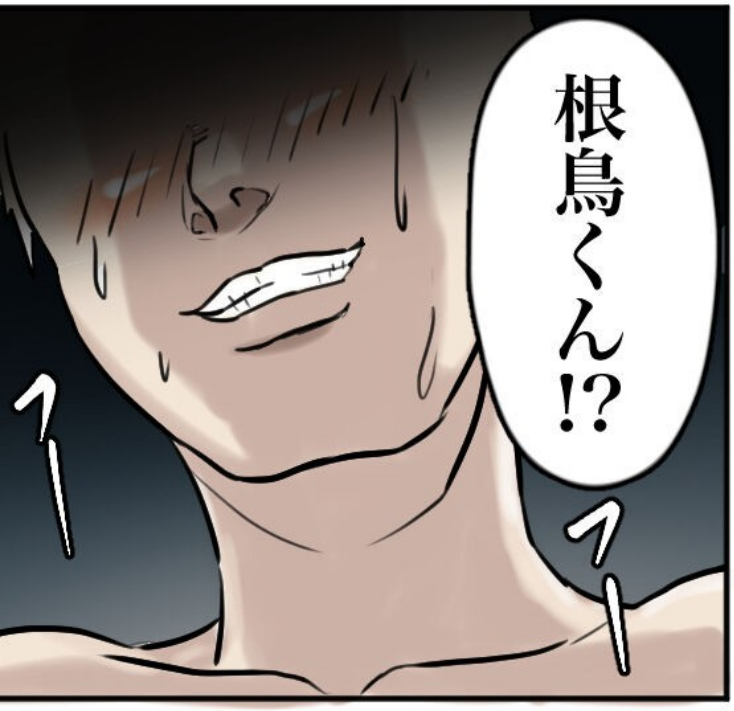

ネリ
ネリ
ネリ
ニュッ

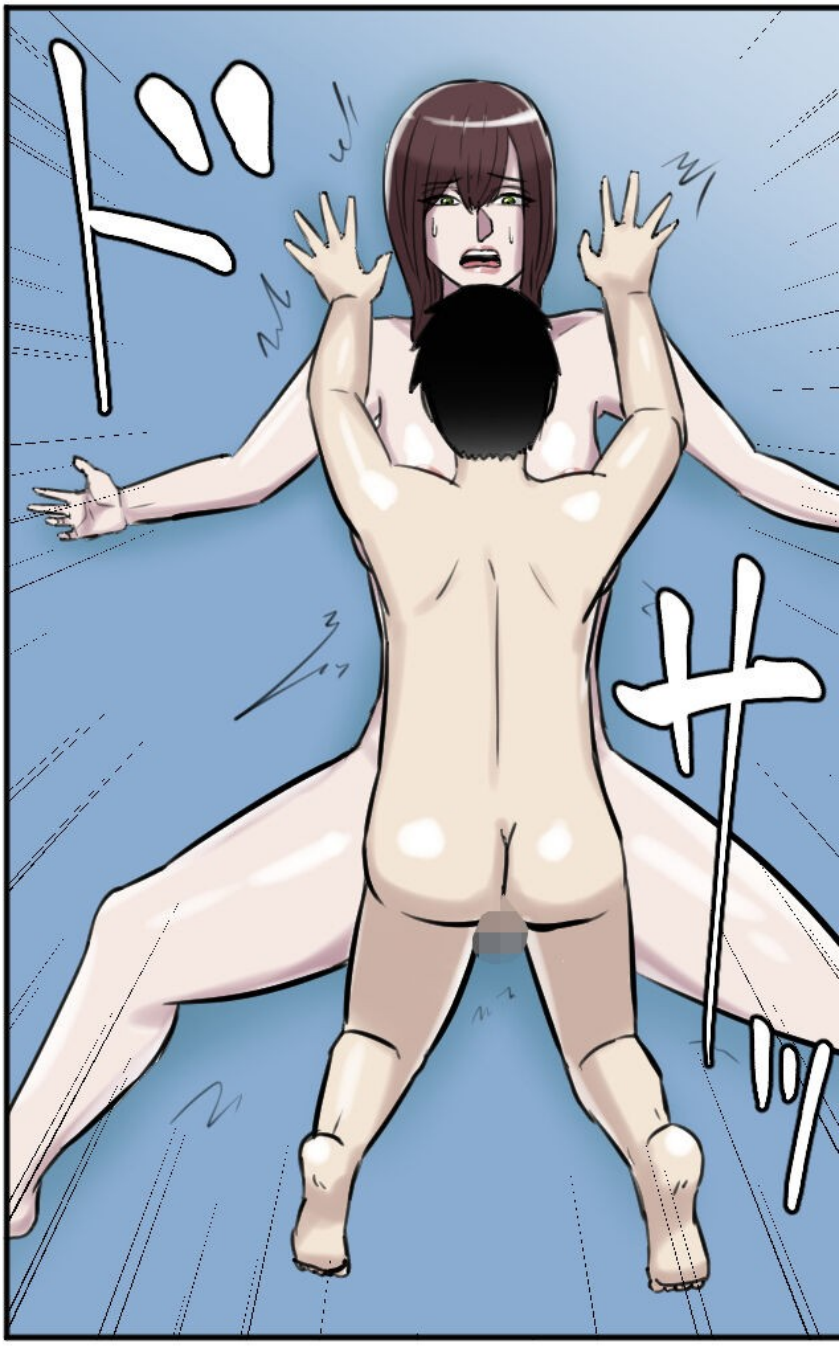

オレはもう覚悟ができていた
キッ!!!

おばさんを傷つけてでも
奪ってやることを・・・


まぁ・・・
意外と簡単だったね
えっ!?
なっなに!?


キャッ!!
ガッ


根鳥くん!?
フー
フー


ドサッ

なにしてるの!?
冗談やめて！
怒るわよ!?

おばさんが大好きなんだ！

なのにどうして再婚なんてするの！オレは許せない！そんなこと！絶対に！絶対絶対絶対にだ！

ゾクッ…

年下だからか!?オレがまだ未熟だからか!?ふざけるな！なめるな！オレも大人だってこと教えてやる!!

ドクッ

っ!?

ピトッ

ちょっと!!!

ヌプッ

やめて!!

ガシッ
ガシッ
ドガッ
ドガッ
ドガッ
ドガッ

っあっ・・・
ううっ・・・
ハァー
ハァッ
ひどい・・・・!
やめて・・・・!
根鳥くんのこと
見損なったわ・・・
もう嫌いよ・・・・!
キッ
イラッ
わからずや・・・
そう思ったたね
びくんっ!!
やめて!!

おばさん！おばさん！

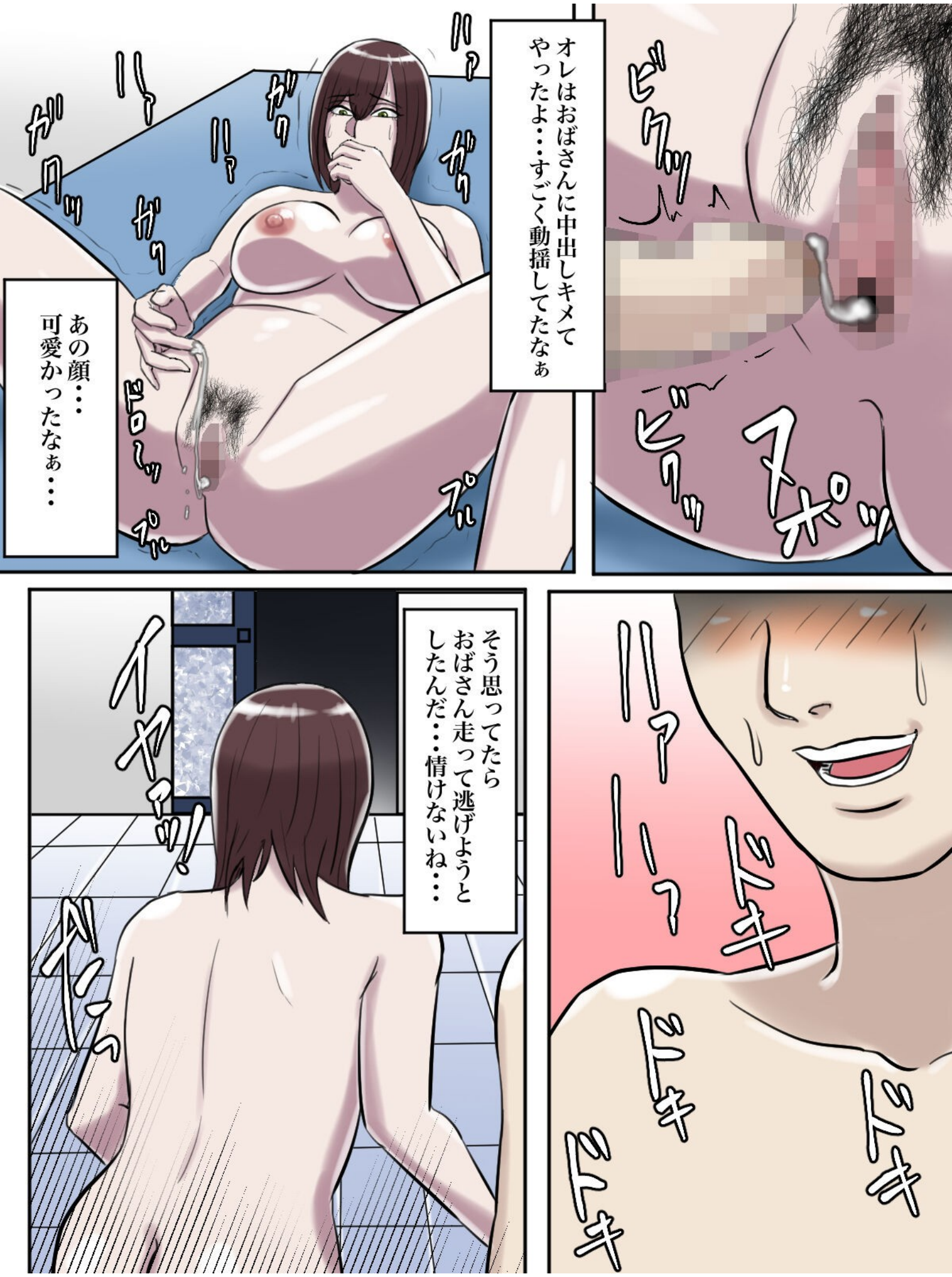
やめて！ねえ！

オレは怒りと興奮をおばさんにぶつけた・・・乱暴に・・・・！

ふっ！ふっ！好きだよ！好き！

もう出しちゃいそうだよ！

ビクッ
ダメ
ビクッ
ビクッ
ゴプ
ゴプ


オレはおばさんに中出しキメてやったよ・・・すごく動揺してたなぁ
あの顔・・・可愛かったなぁ・・・
そう思ってたらおばさん走って逃げようとしたんだ・・・情けないね・・・
ハァ ハァ ガク ガク ドロ〜ッ プル
ビクッ ビクッ ヌポッ
ハァ ハァ ドキ ドキ ドキ ドキ
イヤッ! ダッ

ちょっと！
離して！
やめなさいってば！
オレが逃すわけない
レイプを続けてやったよ
あぁ・・・思い出すだけで・・・！
ふふふふっ！

こっちを何度もみて
やめて！やめて！って…

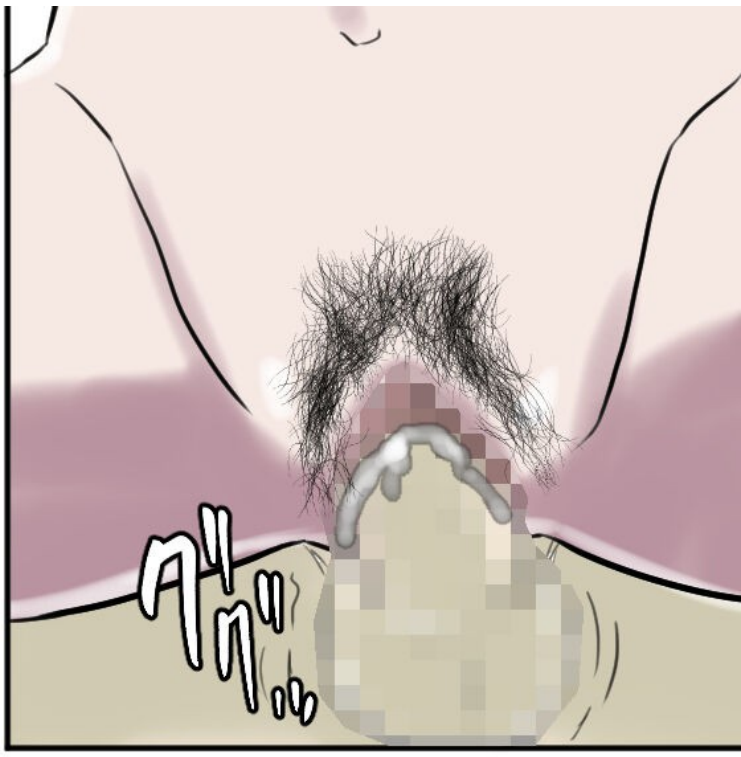
お願い！やめて！
ちょっと！いやああ!!

ビュッ！

無許可の無断中出し…
大人ってすごいよな
何も言わなくても察して中出し
されるって気づいてたみたいだ

その直後だな
やっと…わかったんだね
おばさんは急にフッと力が抜けて諦めがついたようだったよ…
おばさんは素直だね
ああぁ！おばさん！
出してやるからな！早漏包茎ち○ぽで思いっきり!!
おばさんのおま○こ!!

びくっ!
びくっ!
ぁぁぁ!
ドピュッ!



最高の時間だったよ・・・

何も言わなくなったおばさんはずっと一点を見つめてたよ・・・

ハァ

ビクッ

ドサッ

ハァ

ビクッ

ドロ〜ッ

これがオレからの告白さ・・・
で・・・なんでオレが今更こんなことを
急に告白したか気になるだろ？

グシャッ

それはキミのおばさんが妊娠してるって
話をきいてね・・・自慢したくなったんだよ

オレの子供だよ！ってね・・・
子供を堕さなかったのは再婚予定の
相手との子供かもしれないって願いが
あったからだろうね！

おばさんって優しい人だよね
キミにも彼氏にも心配させないようにきっと
黙ってたんだろうね・・・
でもきっとオレの子だと思うね・・・

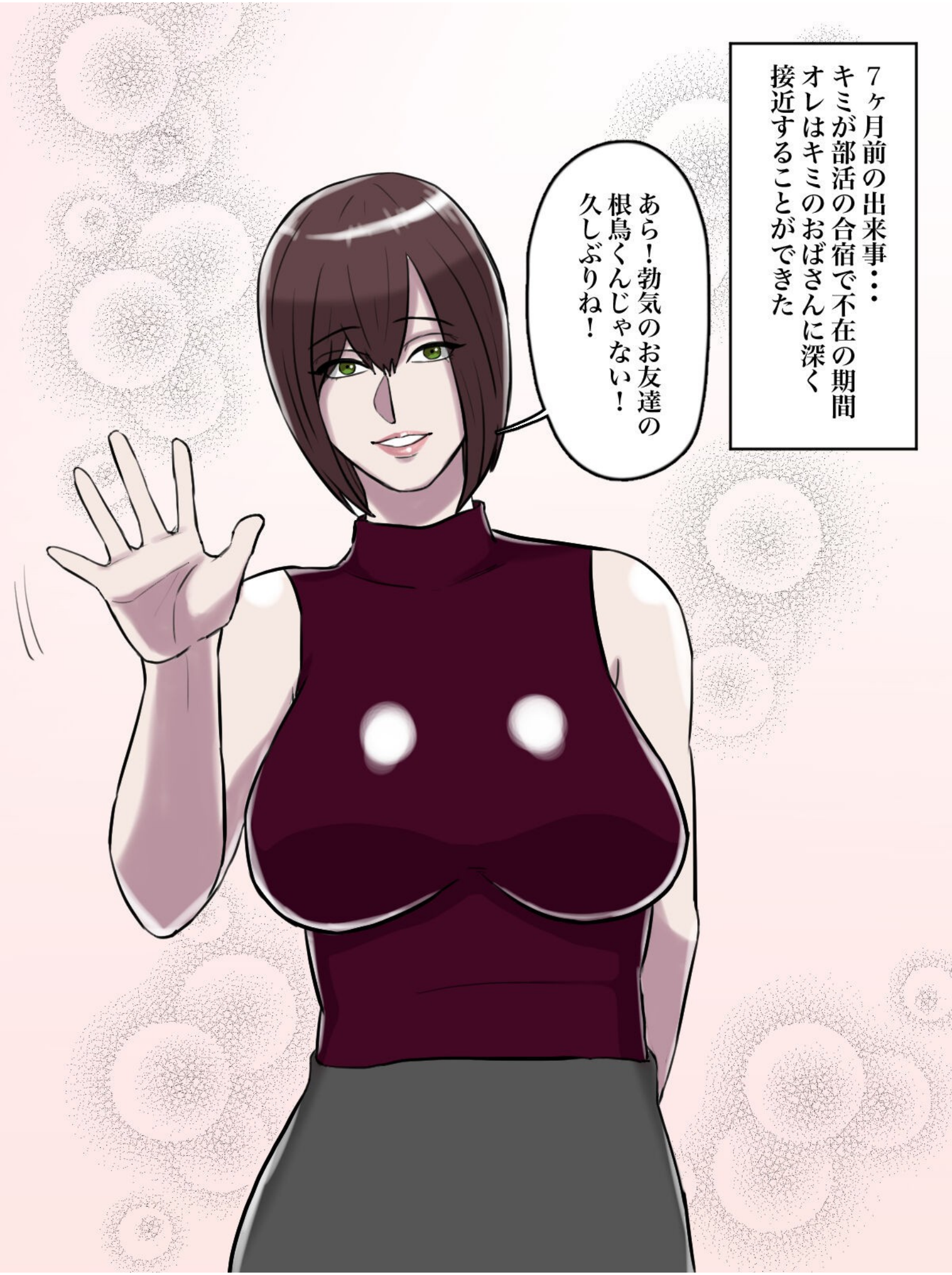
ところで今キミは裏切り者のオレを絞めたい
気持ちなんだろうね
でも無駄さ・・・オレは海外に住んでるんだ
両親の仕事がうまくいってね・・・オレも更生した
ら快く連れて行ったくれたよ・・・海外はいいねえ！
おばさんとは子供を通してずっとオレと繋がって
いる・・・もう幸せすぎてキミに伝えちゃった！

じゃあ・・・まっ！
子育ての手伝いよろしく！
あとは任せるわ！
お兄ちゃん！ばいば～い！

おわり

拝啓　親友へ

君の母親を
レ○プさせていただきました。
その全てをここで告白します。


7ヶ月前の出来事・・・
キミが部活の合宿で不在の期間
オレはキミのおばさんに深く
接近することができた
あら！勃気のお友達の
根鳥くんじゃない！
久しぶりね！

オレはその時期親と喧嘩をして
家を追い出されていた

ご両親から虐待…？
それで家を飛び出してきたの…
それは大変だったわね…

オレは虐待の嘘をついて
おばさんの優しさにつけ込んでやった

うちにねぇ…
んー…このまま帰すのも心配ね
補導だってされちゃうかもだし

オレはその場で土下座をしたよ…
日本は良いよな…適当に頭と手を地面につける
だけで誠意と捉えるんだからな…

さすがにおばさんは土下座には戸惑っていたね
だけどオレをキミの家に一晩泊めてもらえることに
なったのさ
キミのオバサンは心が綺麗だ…そこが大好きなのさ

ニヤッ

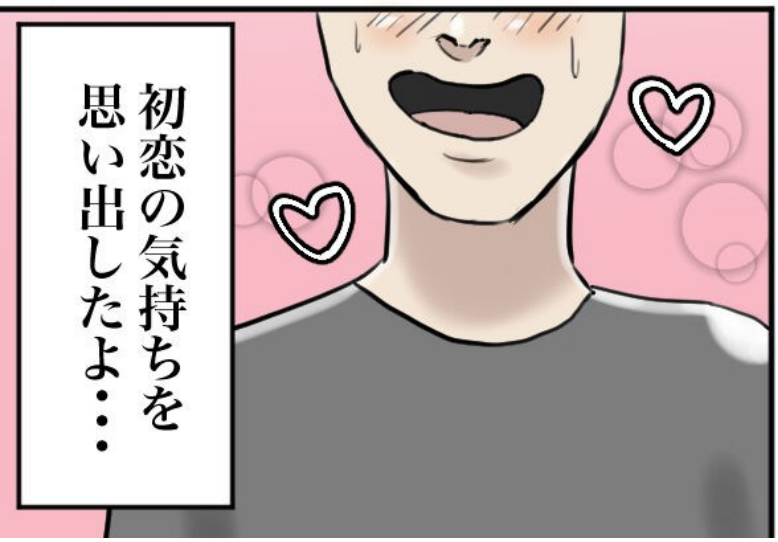
そう…オレはキミの母親のことが好きなんだよ
おばさんが離婚したと聞いた時は心底嬉しかった
もしかしたら年下のオレに振り向いてくれるかも
ってな…

それからすぐキミの家に向かったよ

本当久しぶりにキミの家に行ったけど良い家だね

オレはおばさんとの時間に気持ちの高鳴りが抑えられなかったよ

おばさんの綺麗な瞳・・・歳をとっても全く変わっていなかった・・・



初恋の気持ちを思い出したよ・・・

その日の夜・・・初めておばさんの手料理をご馳走になった

キミは幸せ者だなんて素敵な女性なのだろう・・・

そういえば根鳥くんって

彼女とか好きな人っていいるの・・・？

えっ!?

い・・・いやいないよ学校の女子はガキっぽいから全然惹かれないかな

あらそうなの？

ど・・・どっちかっていうと年上の方が好みかな！

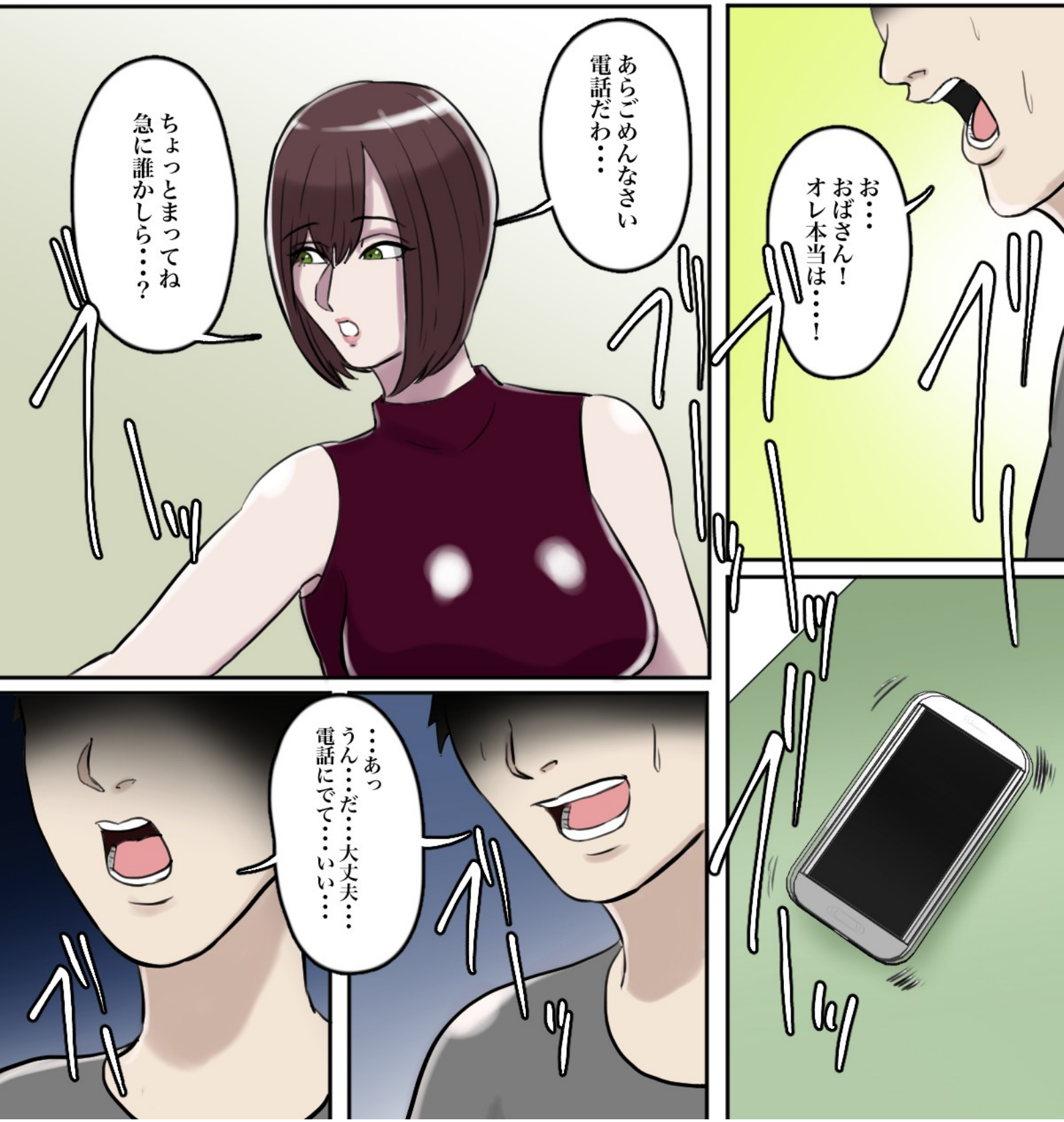
あらそうなの！いつかきっと大好きな人ができるわよ！うふふっ！

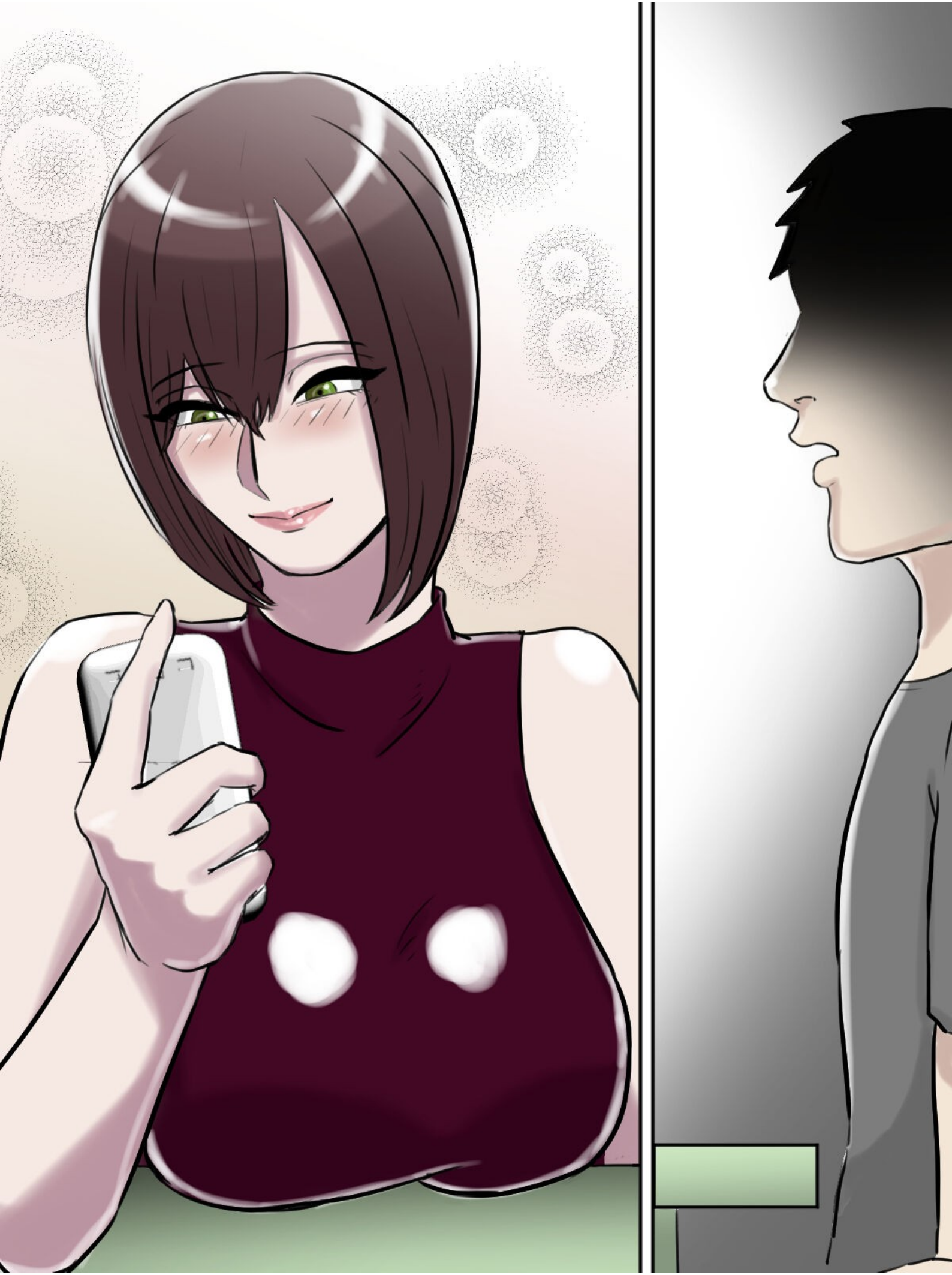
い・・・言いたい・・・

本当はおばさんのことが好きだって・・・愛してるって・・・！

だから・・・思い切ってこの思いを伝える・・・

はずだった・・・

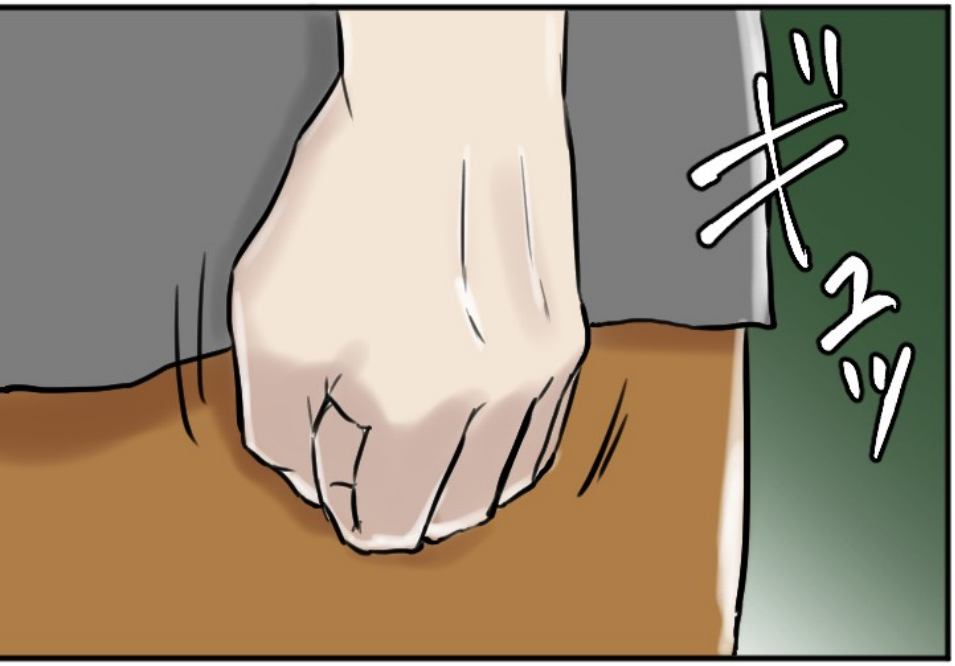

お・・・
おばさん！
オレ本当は・・・・！
あらごめんなさい
電話だわ・・・
ちょっとまってね
急に誰かしら・・・？
・・・あっ
うん・・・だ・・・大丈夫・・・
電話にでて・・・いい・・・



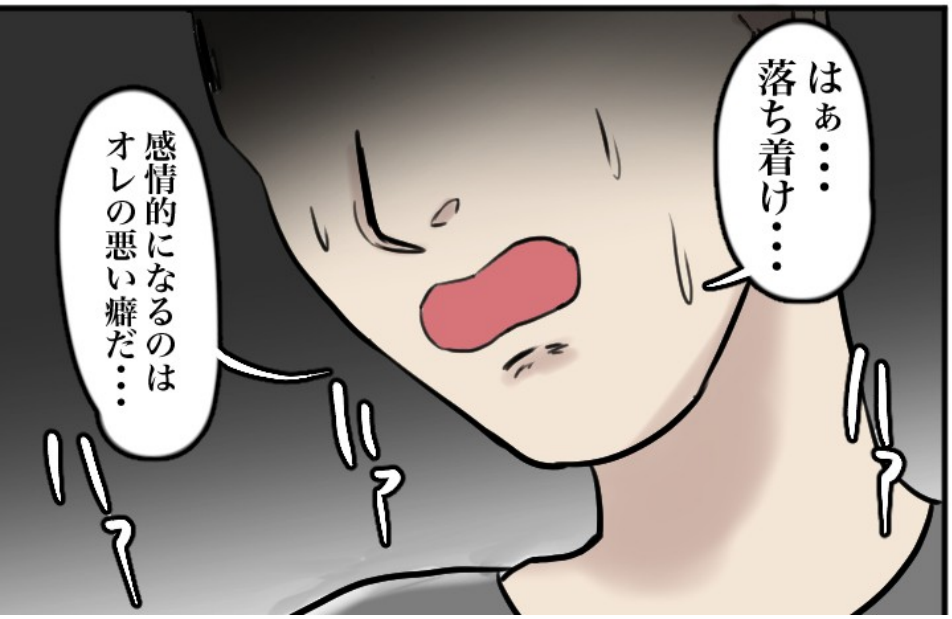
あ！気にしないで！大丈夫だからあとでかけなおすから
それで…なんだっけ！
イッ
なんでもないよ！
大丈夫…大丈夫だよ
あら…そう？
き…気のせいだよ…な…？
違うよな…変な考えはやめよう
お…おばさんオレお風呂入りたい！借りても良いかな…？
全然良いわよ！タオルとかはストックがあるから好きに使って！
カタッ
シャンプーとボディソープ間違えないようにねー!!

あれが・・・女の顔・・・

なんだ・・・！
なんなんだ！
さっきのおばさんの顔！
オレには見せたことない
顔をしていた！
なにか理由があるだろ！
トッ
トッ


ギュッ

プル
プル
プル


はぁ・・・
落ち着け・・・
感情的になるのは
オレの悪い癖だ・・・

ザーッ

ゴソ

ふぅ…
お風呂入ったら結構
落ち着いたなあ…

ゴソ

さっきのことは忘れよう
おばさんといる時間を
楽しもう…

トッ

トッ

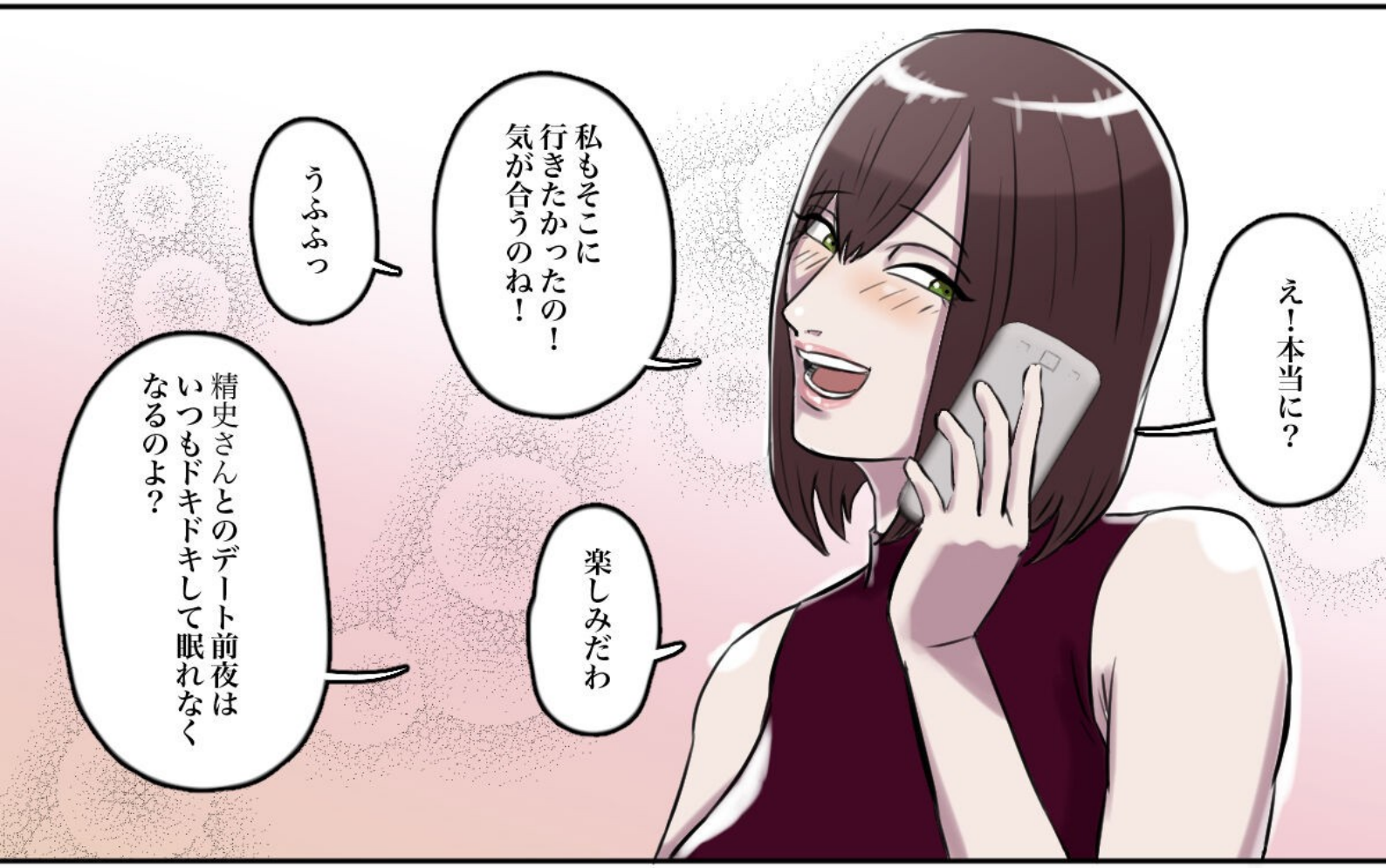
スッ

ふふっ！
やだぁ精志さんったら！

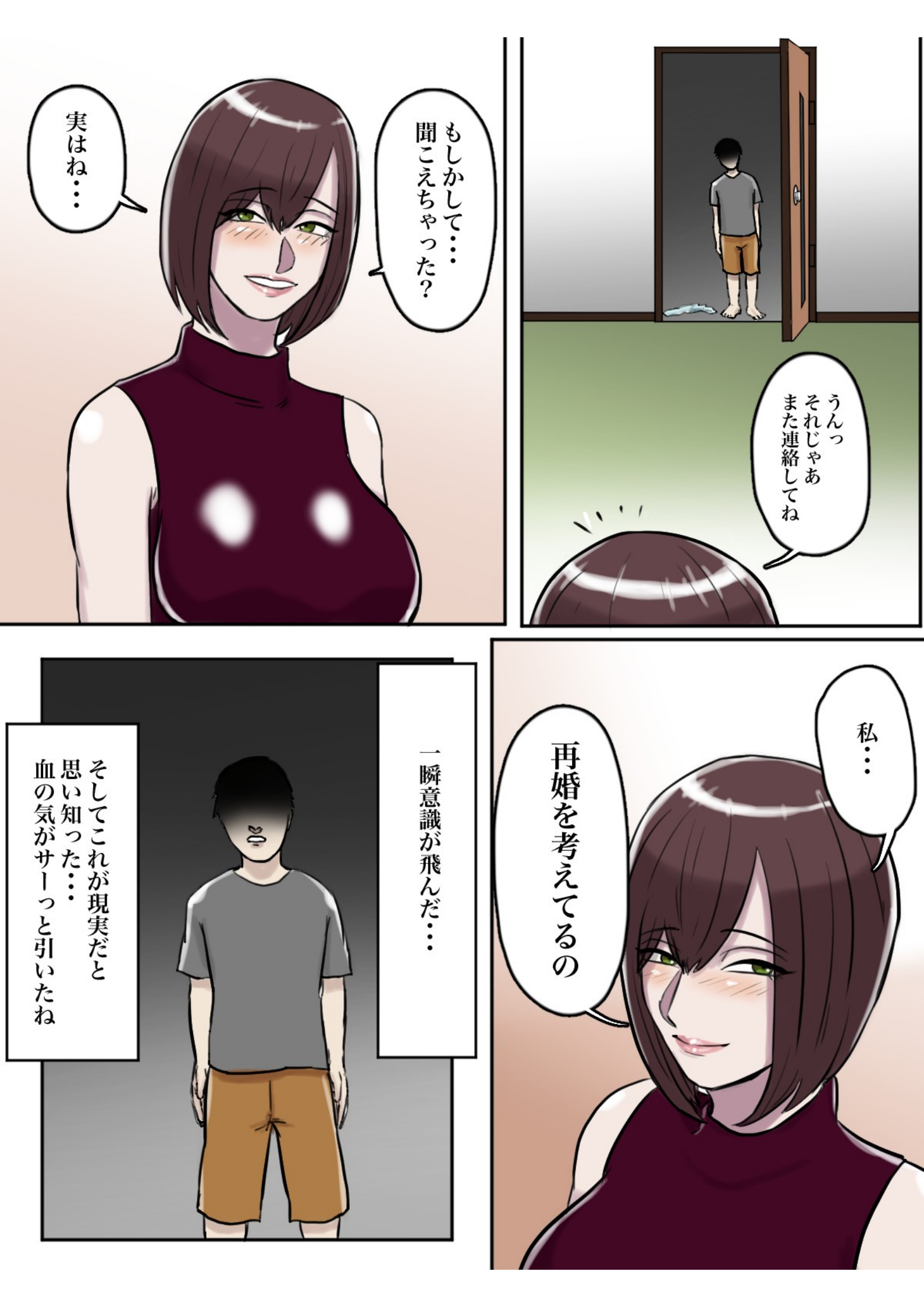
ピタッ

もう！
いじわるなこと
言わないでくださいっ！
うふふっ！

うん
そうね
ガチャッ
スーッ
えぇ・・・
うん
今度の休日ね
行きたいところ
とかある？


え！本当に？
私もそこに
行きたかったの！
気が合うのね！
うふふっ
楽しみだわ
精史さんとのデート前夜は
いつもドキドキして眠れなく
なるのよ？

ゾワッ
疑惑が確信に変わった
瞬間だった・・・
ショックすぎて言葉を
失ったよ・・・最悪だったね

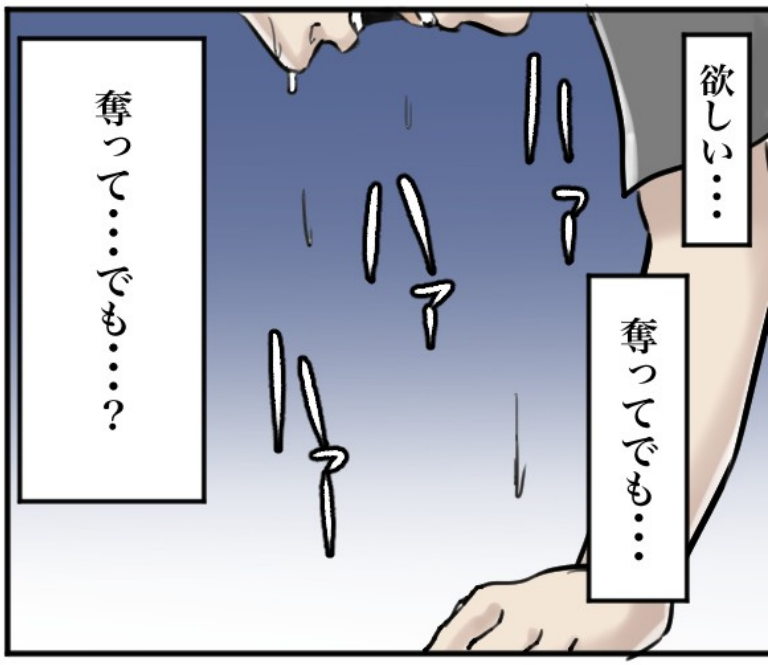

うんっ
それじゃあ
また連絡してね
もしかして…
聞こえちゃった？
実はね…
私…
再婚を考えてるの
一瞬意識が飛んだ…
そしてこれが現実だと
思い知った…
血の気がサーっと引いたね

あ・・・！
勃気には内緒ね！
ふふっ
ニコッ
くそ・・・！
くそ！くそ！
ハーハー
おばさんが再婚!?
ふざけるな！オレの恋はこんな形で
終わるのか!?思いも伝えてないのに・・・！
それじゃあ・・・
私もお風呂はいってくるわね
喉乾いてたら
冷蔵庫の中のもの
好きに飲んで良いから！

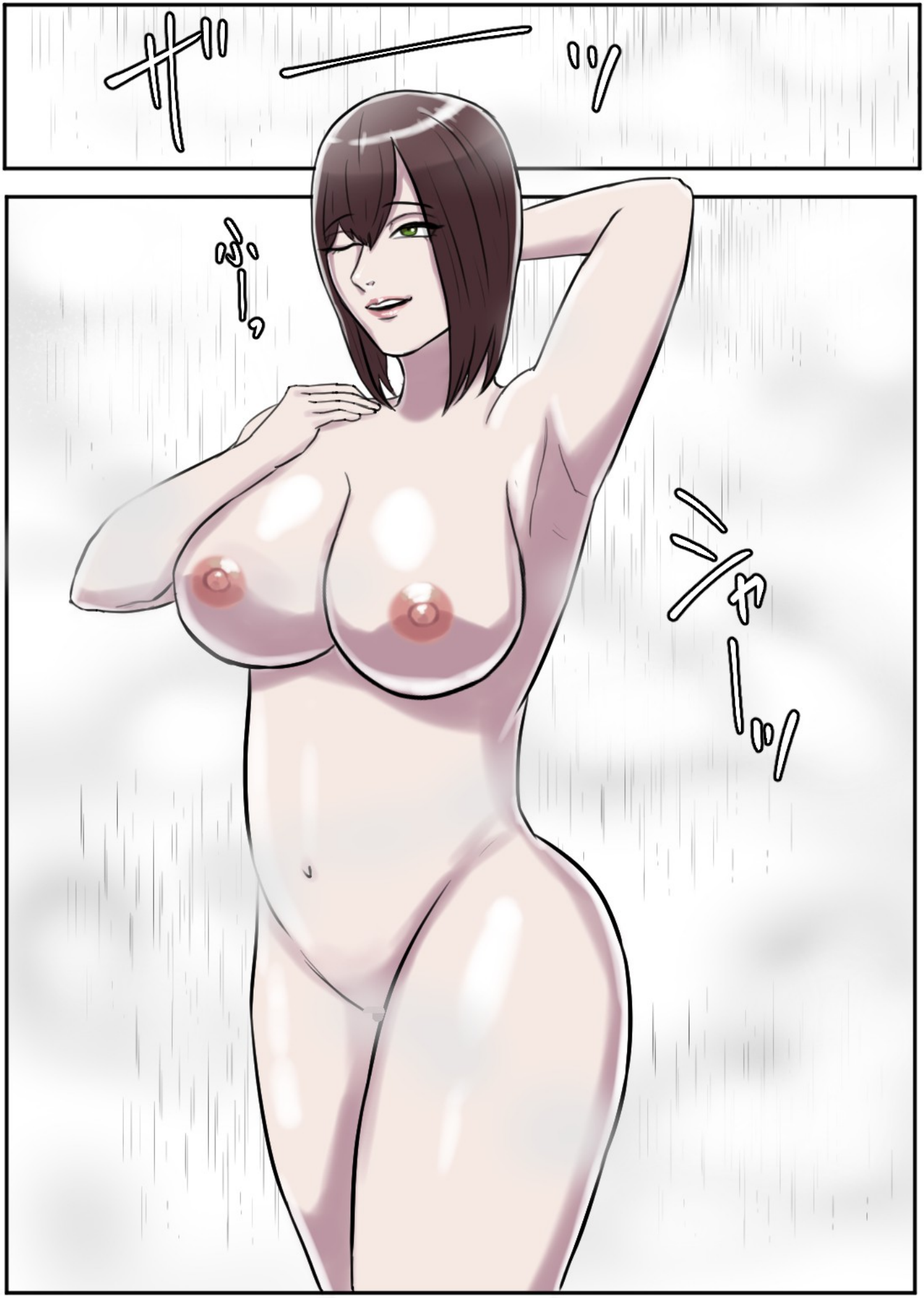
おばさんがまた誰かのものになってしまう…
考えたくなかった事実…
いや心の中で気づいていたのかもしれない
本当はオレみたいな年下は最初から相手にされないなんて…

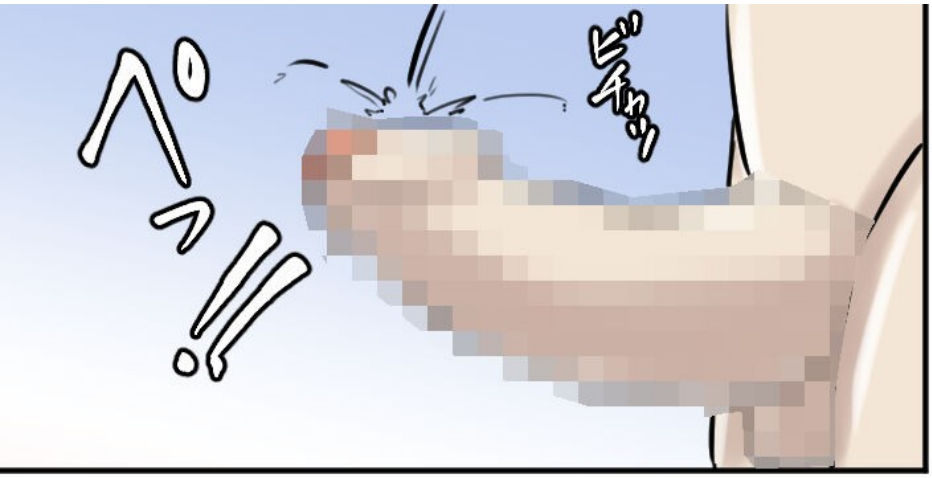
ドサッ

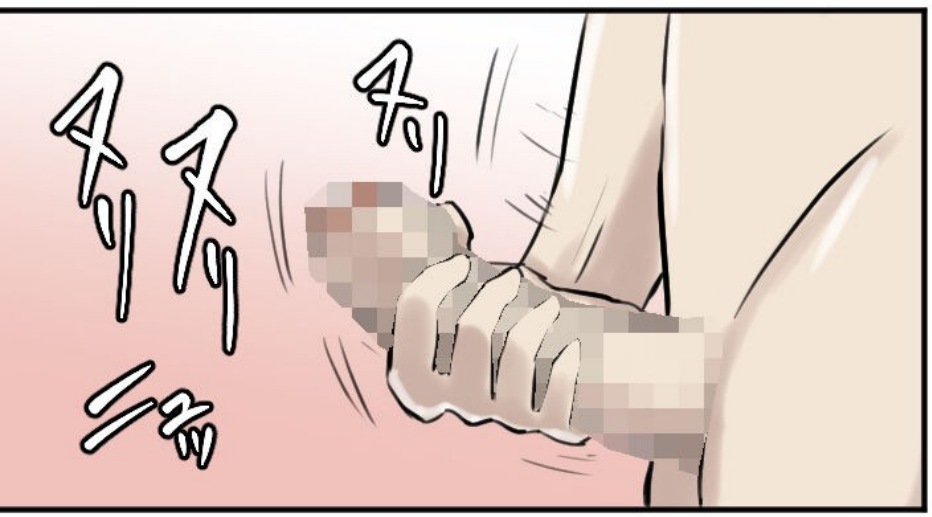
でもオレの気持ちは本物だったんだ…
これから先これ以上人を好きになるわけない…
同級生のションベンくさいやつらとおばさんは比べ物にならないんだ…
欲しい…欲しい…おばさんが欲しい…

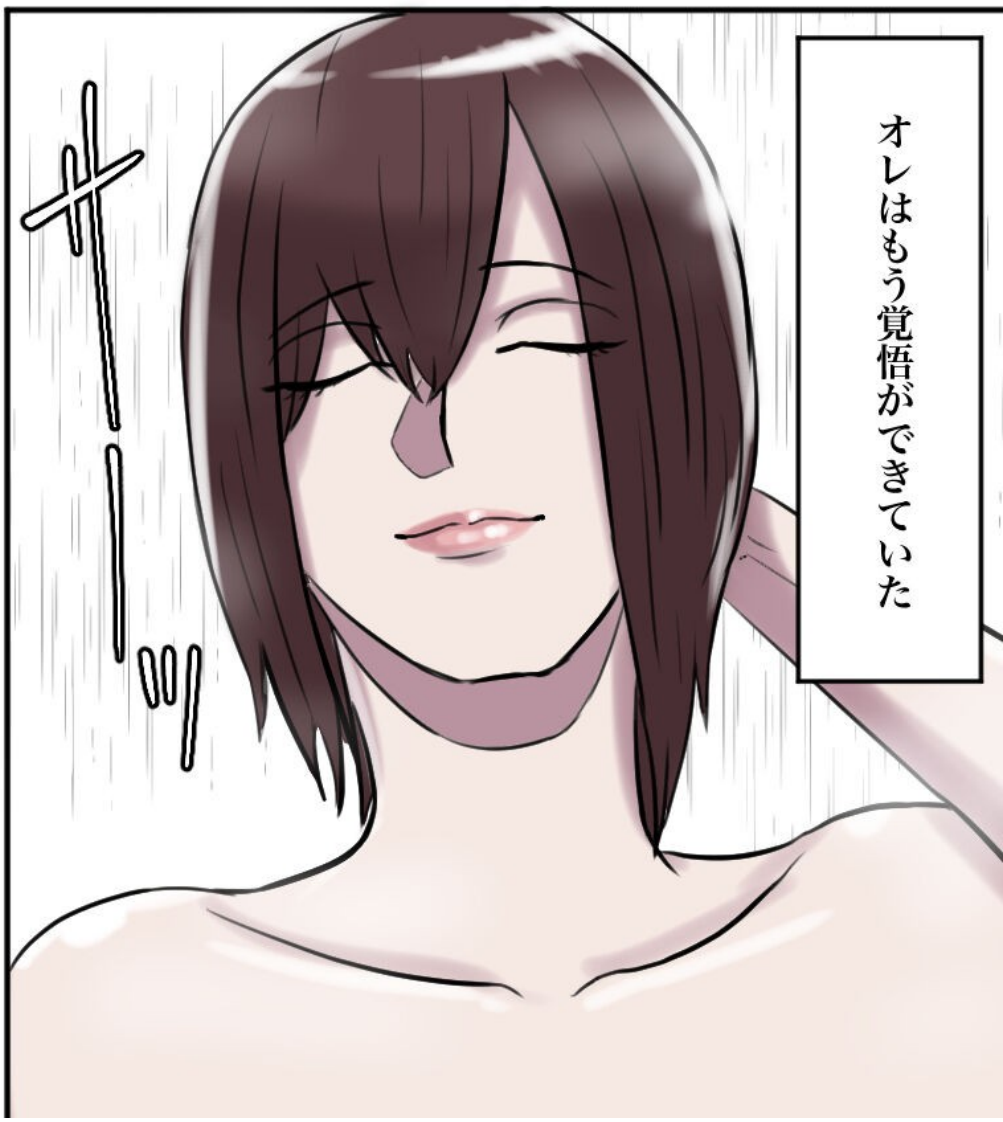


奪ってやるよ…

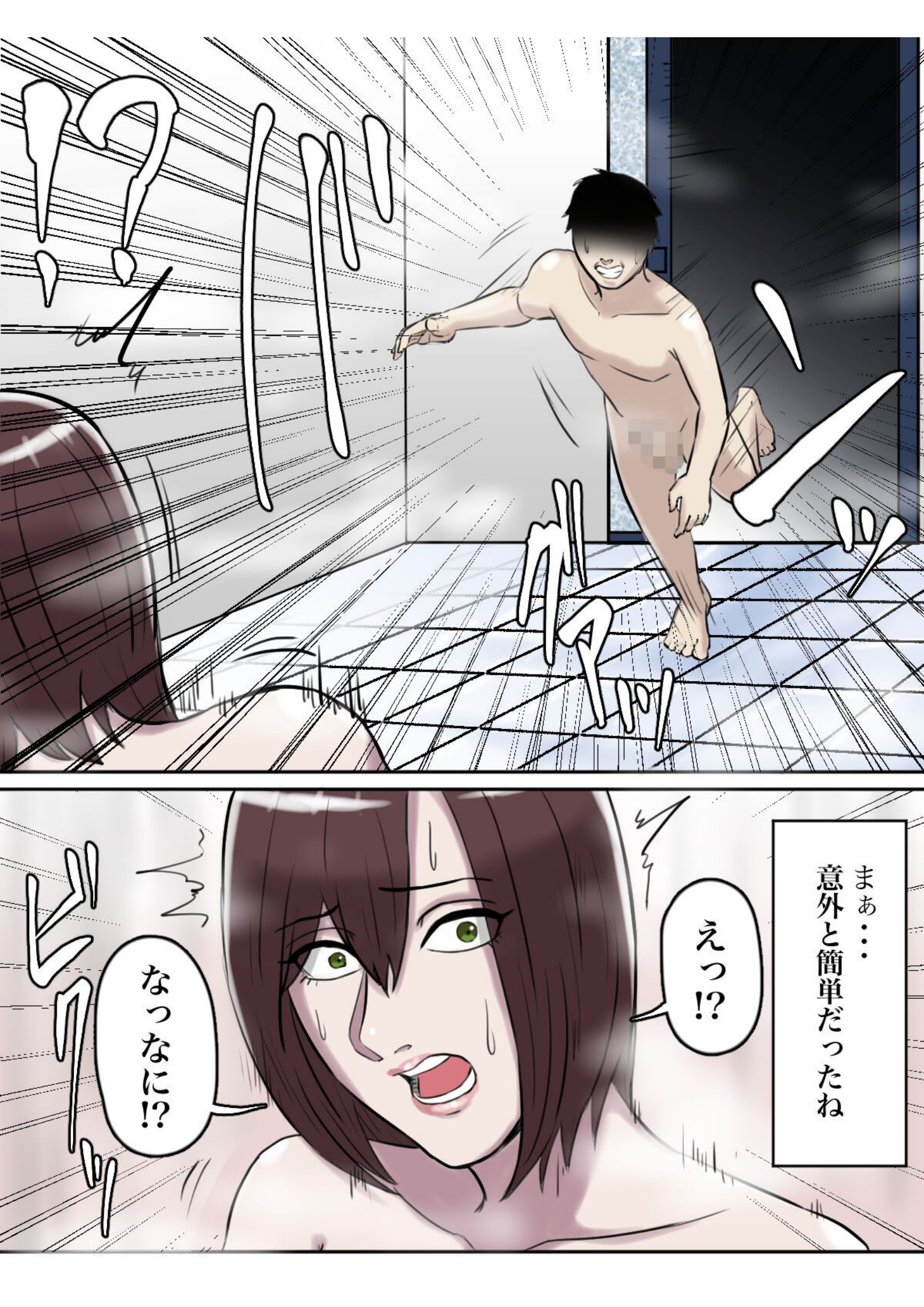


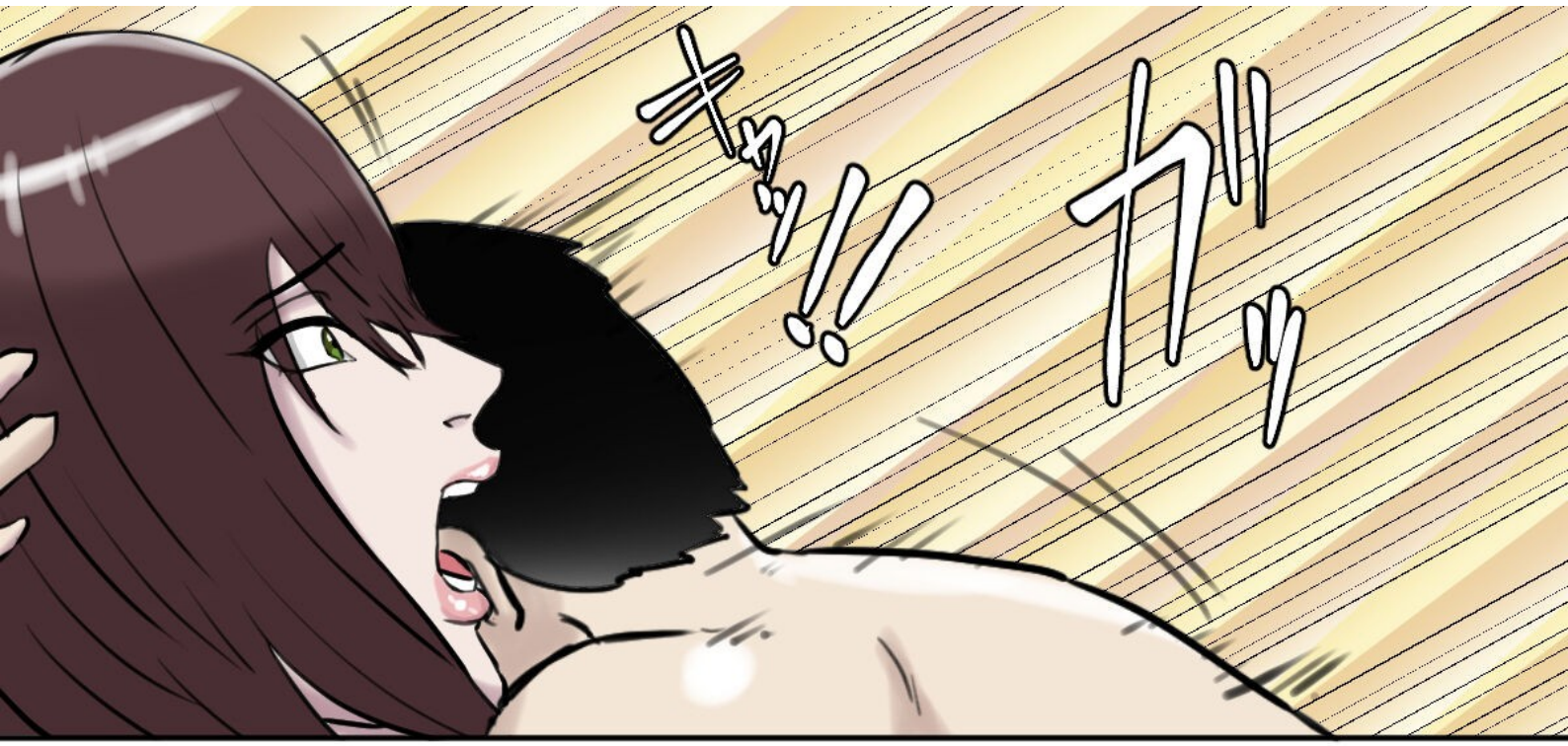

ビチッ
ペッ!!

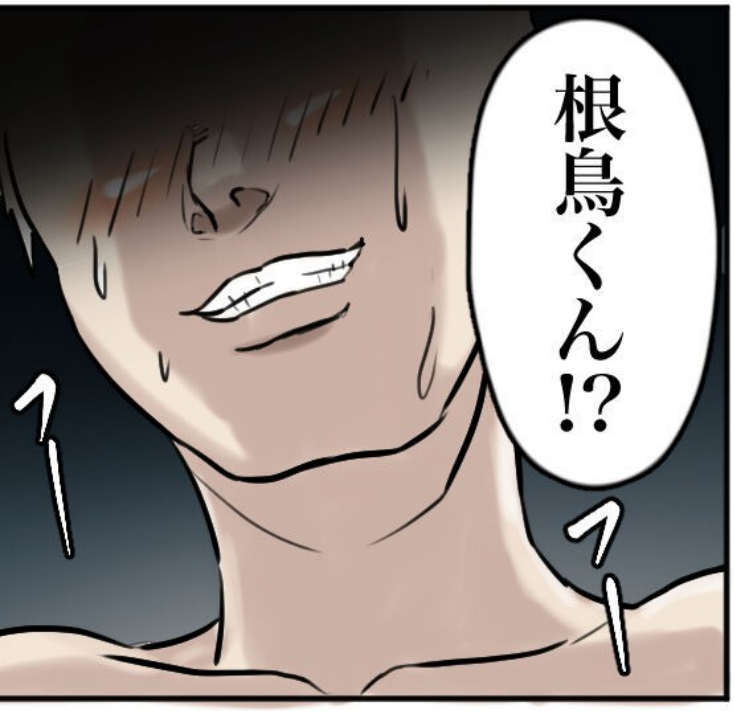

ネリ
ネリ
ネリ
ニュッ

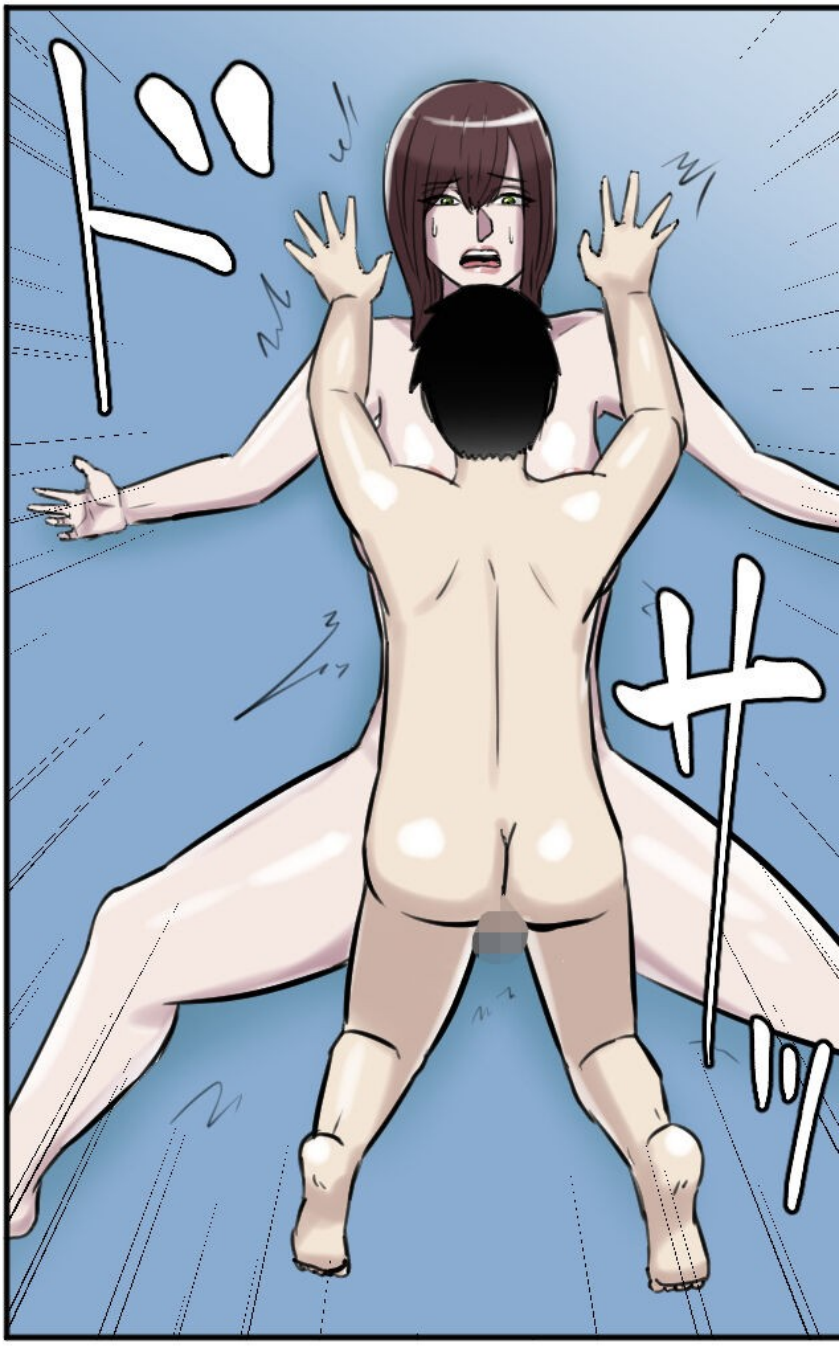

オレはもう覚悟ができていた
キッ!!!

おばさんを傷つけてでも
奪ってやることを・・・


まぁ・・・
意外と簡単だったね
えっ!?
なっなに!?


キャッ!!
ガッ


根鳥くん!?
フー
フー


ドサッ

なにしてるの!?
冗談やめて！
怒るわよ!?

おばさんが大好きなんだ！

なのにどうして再婚なんてするの！オレは許せない！そんなこと！絶対に！絶対絶対絶対にだ！

ゾクッ…

年下だからか!?オレがまだ未熟だからか!?ふざけるな！なめるな！オレも大人だってこと教えてやる!!

ドクッ!!!

っ!?

ピトッ

ちょっと!!!

ヌプッ

やめて!!

ガシッ
ガシッ
ドガッ
ドガッ
ドガッ
ドガッ

っあっ・・・ううっ・・・
ハァー
ハァッ
ひどい・・・！やめて・・・！
根鳥くんのこと見損なったわ・・・もう嫌いよ・・・！
キッ
イラッ
わからずや・・・そう思ったね
びくんッ!!
ハァッ
ゾクッ
やめて!!
ハァッ

おばさん！おばさん！

やめて！ねえ！

オレは怒りと興奮をおばさんにぶつけた・・・乱暴に・・・・！

ふっ！ふっ！好きだよ！好き！

もう出しちゃいそうだよ！

ビクッ
ダメ
ジュボッ
ボボボ
ゴ
ブ

オレはおばさんに中出しキメて
やったよ・・・すごく動揺してたなぁ

あの顔・・・
可愛かったなぁ・・・

ビクッ
ビクッ
ヌポッ
ハァ
ハァ
ガクッ
ガクッ
ドロ〜ッ
プル

そう思ってたら
おばさん走って逃げようと
したんだ・・・情けないね・・・

ハァ
ハァ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
イヤッ!
ダッ

ちょっと！
離して！
やめなさいってば！
オレが逃すわけない
レイプを続けてやったよ
あぁ・・・思い出すだけで・・・！
ふふふふっ！

こっちを何度もみて
やめて！やめて！って…

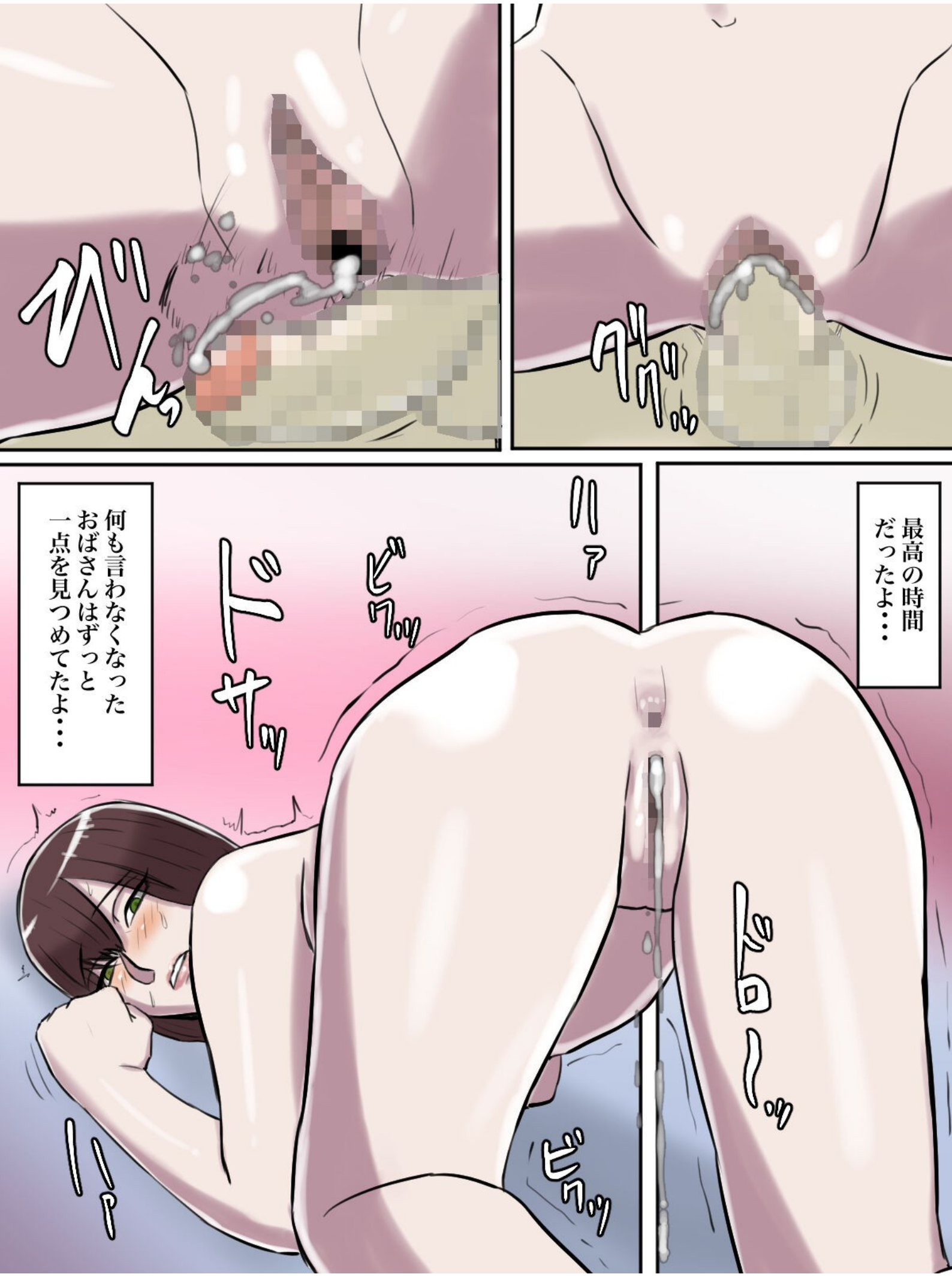
お願い！やめて！
ちょっと！いやああ!!

ビュッ！

無許可の無断中出し…
大人ってすごいよな
何も言わなくても察して中出し
されるって気づいてたみたいだ

その直後だな
やっと…
わかったんだね
おばさんは急にフッと
力が抜けて諦めがついた
ようだったよ…
おばさんは
素直だね
ガクッ
あぁ…
ああぁ！
おばさん！
出してやるからな！
早漏包茎ち○ぽで
思いっきり!!
おばさんの
おま○こ!!
ズッ
パン
パン
パン
ジュッ
ズッ

びくっ!
びくっ!
ぁぁぁ!
ドピュッ!


ぶん
グリグリ
最高の時間だったよ・・・
ハァ
ビクッ
ドサッ
何も言わなくなったおばさんはずっと一点を見つめてたよ・・・
ドロ〜ッ
ビクッ
ハァ

これがオレからの告白さ・・・
で・・・なんでオレが今更こんなことを
急に告白したか気になるだろ？

グシャッ

それはキミのおばさんが妊娠してるって
話をきいてね・・・自慢したくなったんだよ

オレの子供だよ！ってね・・・
子供を堕さなかったのは再婚予定の
相手との子供かもしれないって願いが
あったからだろうね！

おばさんって優しい人だよね
キミにも彼氏にも心配させないようにきっと
黙ってたんだろうね・・・
でもきっとオレの子だと思うね・・・

ところで今キミは裏切り者のオレを絞めたい
気持ちなんだろうね
でも無駄さ・・・オレは海外に住んでるんだ
両親の仕事がうまくいってね・・・オレも更生した
ら快く連れて行ったくれたよ・・・海外はいいねえ！
おばさんとは子供を通してずっとオレと繋がって
いる・・・もう幸せすぎてキミに伝えちゃった！

じゃあ・・・まっ！
子育ての手伝いよろしく！
あとは任せるわ！
お兄ちゃん！ばいば～い！

おわり